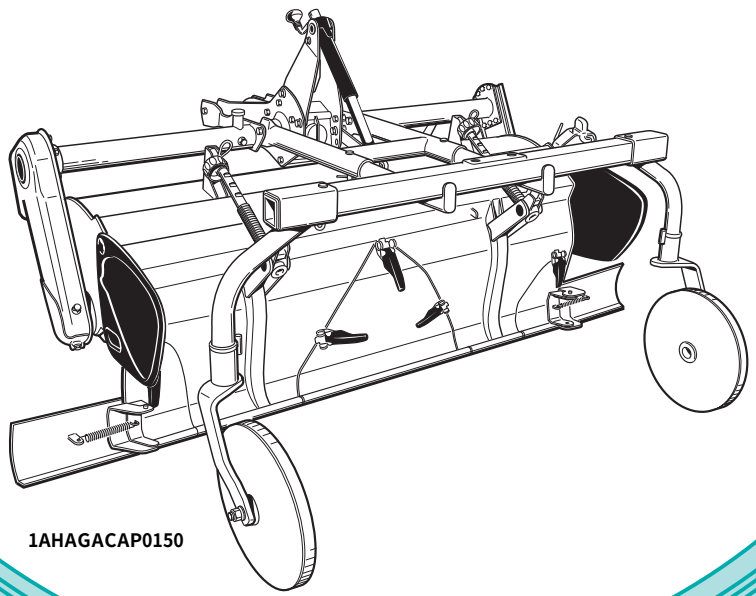
クボタロータリ

取扱説明書

RS 10JSE
11J(E)
12J･13J･14J･15J
（サイドドライブロータリ）

RK 11J(SE)
13J
（センタドライブロータリ）



1AHAGACAP0150

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は RS13J-VB を基本とし，RS13J-VB と取扱いが異なる場合はその都度追加説明してあります。

●サイドドライブロータリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・RS 仕様
●センタドライブロータリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・RK 仕様
●後２輪付き（スタンド無し）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・B 仕様
●スタンド付き（後 2 輪無し）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・標準仕様
●カバー仕様
　・畝立機用長穴カバー付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・標準仕様
　・畝立機用 V カットカバー付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・V 仕様
●E タイプ仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・E 仕様
●接近仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・SE 仕様

目　次

⚠安全に作業するために

ロータリを使用する前に 1
ロータリの着脱時 2
耕うん爪の点検や交換及び調整時 3
オートハンガとスナップピンの使用時 4
運転時 5
格納時 7
廃棄物の処理について 7
表示ラベルと貼付け位置 8
表示ラベルの手入れ 9

サービスと保証について

各部の名称

ロータリの着脱のしかた

トラクタとの組合せ 3
ロータリ着脱時の準備 4
2P フレームの取付け【S 仕様】..... 5
取外し方
【トラクタの標準仕様・M 仕様】 6
取付け方
【トラクタの標準仕様・M 仕様】 9

ロータリの上手な使い方

適応作業速度 14
なた爪の取付け方 15
サイドドライブ仕様 15
草切爪【サイドドライブ仕様】..... 15
つきま線（草巻付き防止ワイヤ）
【センタドライブ，E・SE 仕様を除く】. 16
センタドライブ仕様 18
耕幅調節（RK11J(SE)，RK13J）..... 19
均平耕法
（耕起・細土・代かき・整地作業）..... 19
１つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土作業）..... 20
２つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土及び一連畝立て作業）..... 21

ロータリの調整

ロータリカバーの調整 22
ニューフラップカバーの使用法
【サイドドライブ仕様】..... 22
補助カバーの取外し方 23
サイドカバーの上手な使い方 23
延長カバーの使用法
【E・SE 仕様を除く】..... 24
ロータリカバー２の調整 24
ロータリカバー２の保持..... 24
ロータリカバー接地圧の調節..... 25
スプリングロックの調整
[E・SE 仕様を除く] 26
後２輪の調整［B 仕様] 27
後２輪ホルダ２の前後調整..... 27
後２輪ホルダ２の上下調整..... 28
後２輪ハンドルによる耕深調整（トラクタ A 仕様（耕深制御時）除く）..... 28
畝立機の取付け（別売りオプション）... 29
V カバー仕様の場合 29
標準仕様の場合..... 29
培土・片培土反転金具の取扱いについて.. 30
サイド延長カバーの取扱い
[サイドドライブ仕様]
(別売りアタッチメント) 31
残耕処理爪の取扱い
[サイドドライブ仕様]
(別売りアタッチメント) 31
回動レバーアッシの取扱い
[サイドドライブ仕様]
(別売りアタッチメント) 32
逆転 PTO の使用方法 32
爪軸交換のしかた 33

作業前の点検について（日常点検）

点検箇所 35
点検は次の順序で実施してください。..... 35
点検のしかた 35

ロータリの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 36
洗車時の注意 36
定期点検箇所一覧表 37
各部の油量点検と交換 38
ギヤーケースオイル
【サイドドライブ仕様】..... 38
チェーンケースオイル
【サイドドライブ仕様】..... 39
ロータリケースオイル
【センタドライブ仕様】..... 39
グリース・オイルの補給と注油 40
ユニバーサルジョイント..... 40
サポート（ベアリング）内スプライン部
【S 仕様】，ロータリ入力軸【S 仕様】. 40
２点リンク連結部..... 40
サイドフレーム下側ベアリングケース
【サイドドライブ仕様】..... 41
後２輪のグリースニップル部【B 仕様】.. 41

目　次

内管（後２輪調整ネジ部）..... 41
オートハンガしゅう動，回動部
【E・SE 仕様を除く】..... 41
つきま線 U 金具内部
【E・SE・センタドライブ仕様を除く】. 41
シールの組換え..... 42

付　表

主要諸元..... 43
標準付属品..... 45
アタッチメント一覧表..... 46
推奨オイル・グリース一覧表..... 49
ギヤーオイル 90 番 49
グリース 49
主な消耗部品一覧表..... 50

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

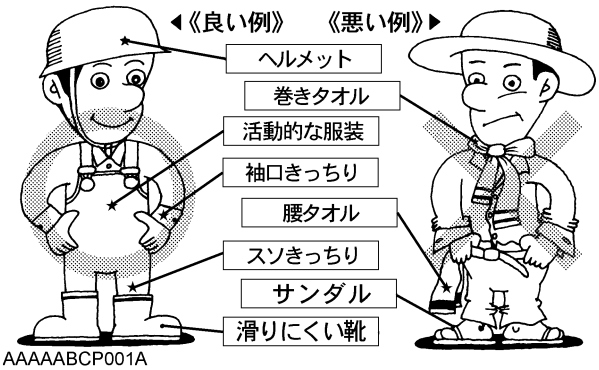
ロータリを使用する前に

1. ロータリを使用する前に，必ずこの取扱説明書とトラクタ本機の取扱説明書，及び機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で作業してください。
2. ロータリを他人に貸すとき，また他人に作業を依頼するときは，事前に操作のしかたを教え，本書を読ませてください。
3. 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には，絶対に作業させないでください。

1AHACACAP001A

4. ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
   回転部分や操縦装置に引掛かり事故の原因になります。
   安全のため，ヘルメット，安全靴，保護めがねや手袋などを必要に応じて使ってください。

作業時の服装



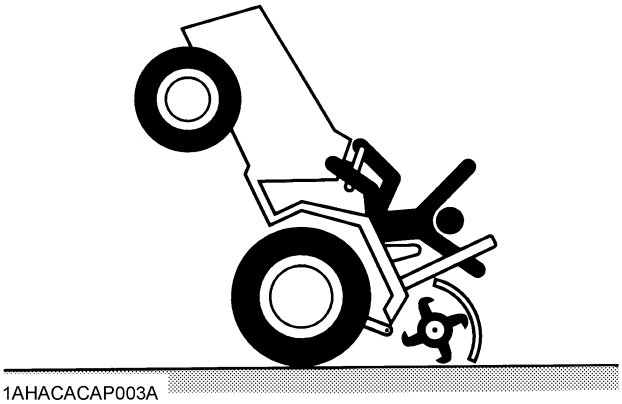
1AAAAABCP001A

ロータリの着脱時

1. PTO を中立にして平たんな場所で行なってください。
2. トラクタとロータリの間に立たない，また立たせないでください。
   挟まれるおそれがあります。

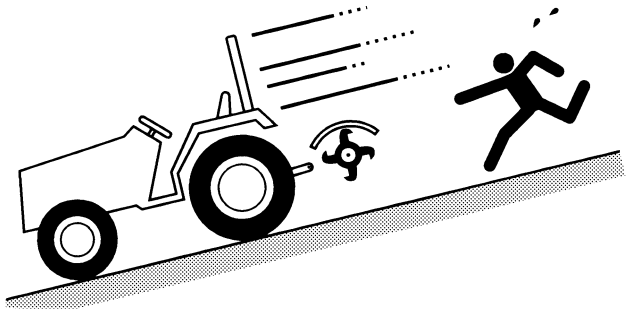
1AHACACAP002A

3. 二人作業の場合はお互いに合図しあい，注意して作業してください。
4. ２点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが，確実にセットされていることを確認してください。
5. 装着するトラクタによってそれぞれ前後バランスが異なる場合がありますので，前部ウエイトの指示がある場合は必ず装着してください。
   前輪が浮上がり事故の原因になります。

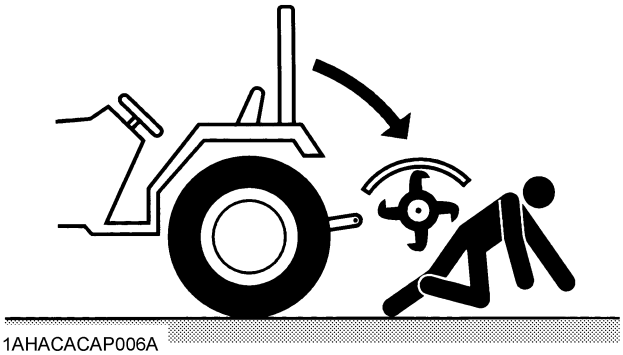

1AHACACAP003A

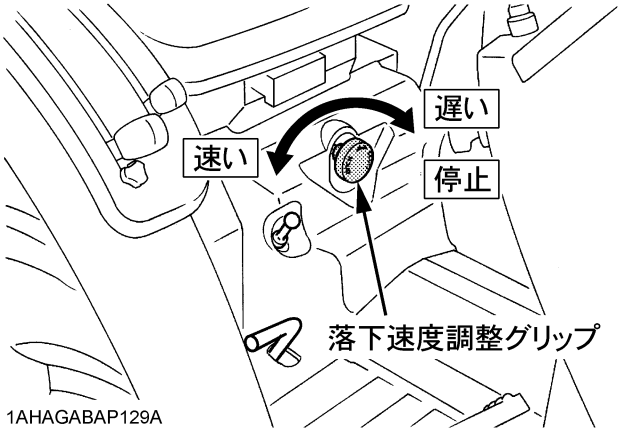
耕うん爪の点検や交換及び調整時

1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
   トラクタが動き出すおそれがあります。
3. ロータリカバー２は，オートハンガ，またはスナップピンを使用し，確実に固定してください。
4. オートハンガのクリップを解除位置にした場合，ただちにロータリカバー２を下ろしてください。


1AHACACAP005A

5. ロータリを上げた状態で点検整備を行なう場合，必ず落下速度調整グリップでロータリが落下しないようロック（停止）してください。ロック（停止）すると共に適切なジャッキ又はブロックを爪軸の下に置き，落下防止を行なってください。

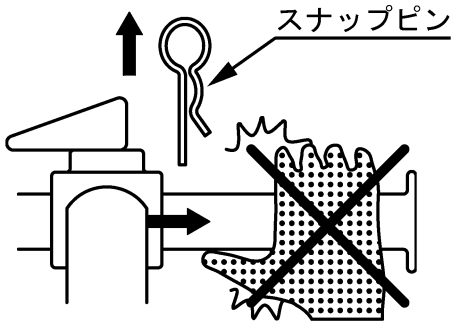

1AHACACAP006A



1AHAGABAP129A

オートハンガとスナップピンの使用時

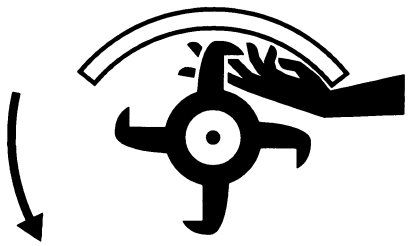
1. オートハンガとスナップピンの操作は，傷害事故を起こすおそれがありますので，平坦な広い場所で行ない，エンジンを止めて，駐車ブレーキをかけてから行なってください。
2. オートハンガ，およびスナップピンを操作する時は，ロッドに手を掛けないでください。
3. オートハンガ，およびスナップピンを操作する時は，ロータリカバー２を手で支えて行なってください。
4. オートハンガ，スナップピンとも，保持を解除する時は，ロータリの下や周辺の安全確認を行なってください。
5. オートハンガのクリップを解除位置にした場合，ただちにロータリカバー２を下ろしてください。



1AHAAACAP1380

運転時

1. 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また紛失したり損傷した場合，交換してください。
   巻込まれや切傷事故の原因になります。
2. ユニバーサルジョイント，爪軸など回転部分には近づかないでください。
   裂傷・巻込まれなど，事故のおそれがあります。



1AHACACAP009A

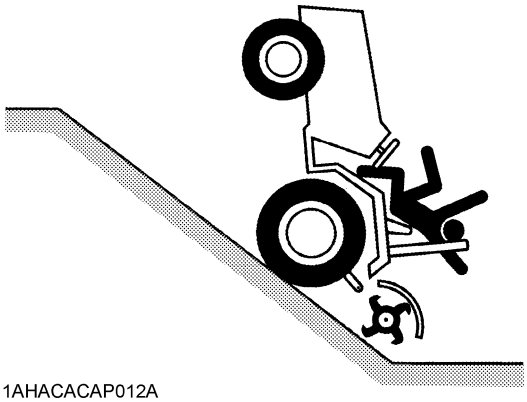
3. ロータリの上に人を乗せないでください。

1AHACACAP010A

4. 必ず座席に座ってロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
5. ロータリを持上げ，バック及び急旋回するときは，周囲の安全確認を行なってください。

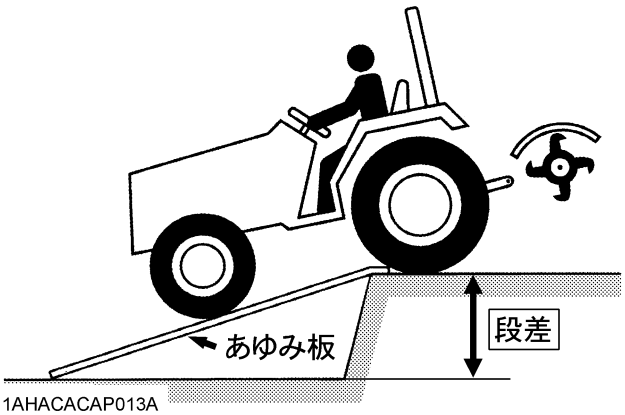
1AHACACAP011A

6. 傾斜地やあぜを登るときは，転倒防止のためロータリを下げて前輪の浮上がりを防いでください。


1AHACACAP012A

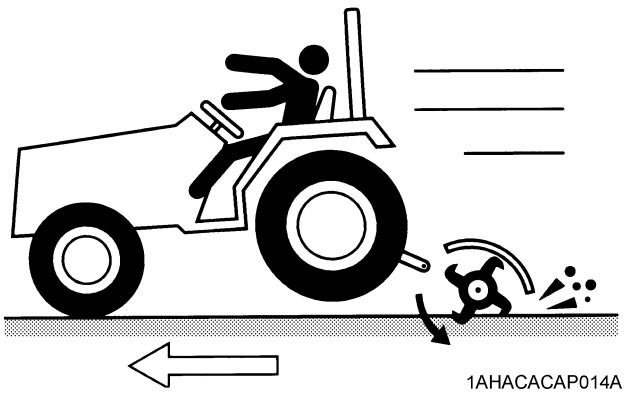
7. ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。

＊ あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。



1AHACACAP013A

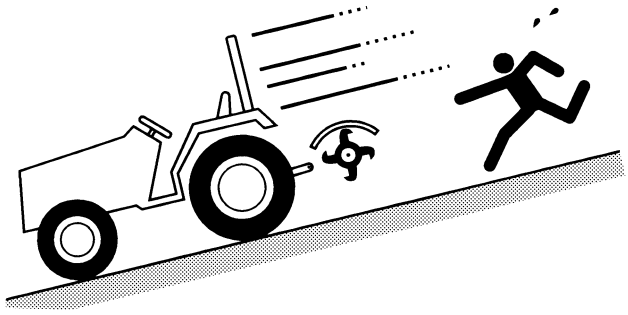
8. 耕うん中，硬いほ場でトラクタが前に飛出した場合，すぐクラッチを切りブレーキを踏んでください。次により遅い車速に変速し，爪軸回転を上げて飛出しが起こらないように作業してください。
２輪駆動，４輪駆動の切換え可能なトラクタは，４輪駆動にしてください。


1AHACACAP014A

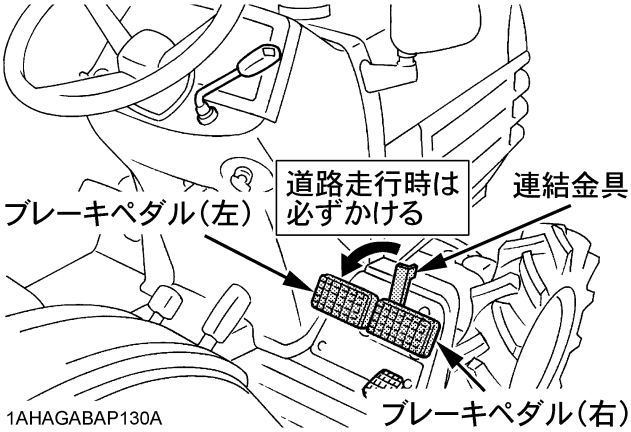
9. ロータリをトラクタに装着して公道を走行できません。(道路運送車両法の保安基準)
作業機を装着して走行すると，他の車や電柱などに引掛けて事故の原因になります。

格納時

1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. ロータリを下げ，地面に接地させてください。ロータリが落下するおそれがあります。
3. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
   トラクタが動き出すおそれがあります。
4. ロータリに寄りかかったり，乗ったりしないでください。
   ロータリが転倒するおそれがあります。



1AHACACAP015A



1AHAGABAP130A

廃棄物の処理について

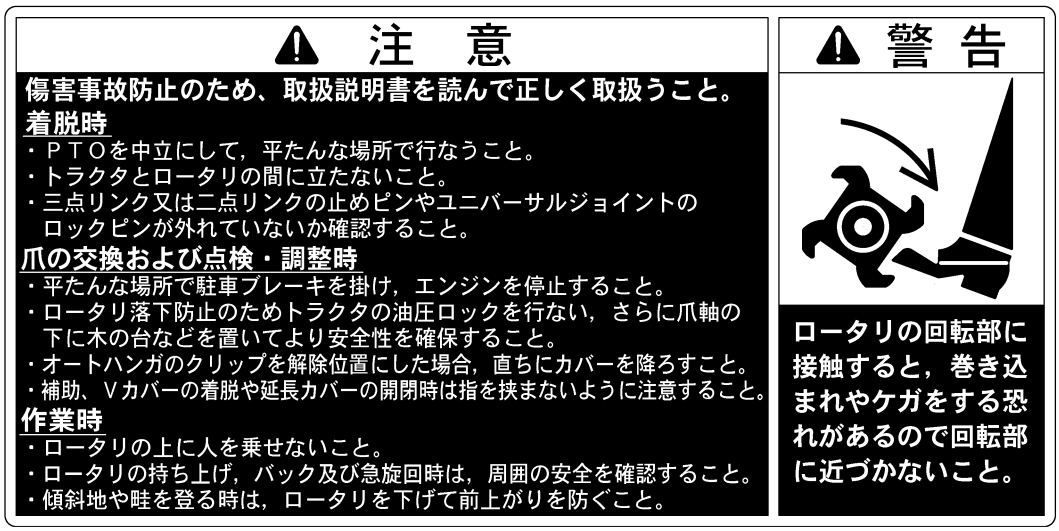
1. 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。

＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

1BJABAAAP018B

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　7C705-5646-4



1AHAGACAP012A

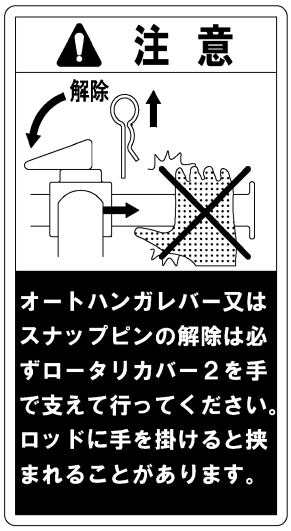
(2) 品番　7C705-5881-1

1AHACACAP018B

(3) 品番　7C712-5613-1

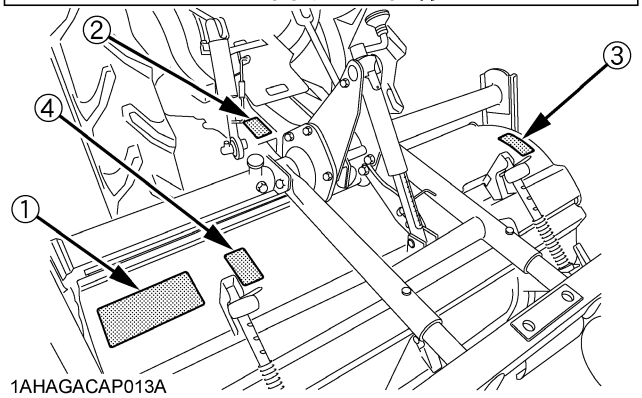
1AHACACAP019B

(4) 品番　7CF613-5632-1



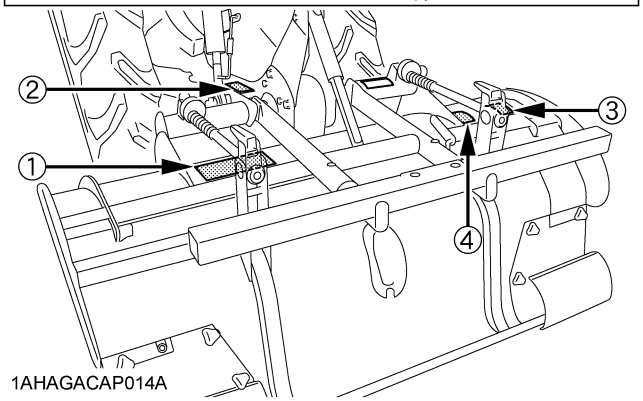
1AHAGABAP1320

サイドドライブ仕様



1AHAGACAP013A

センタドライブ仕様



1AHAGACAP014A

表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

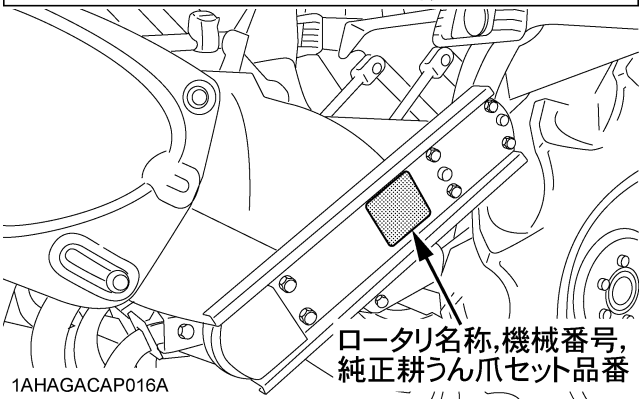
◆ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますので，お気軽にご相談ください。
その際，ロータリ名称と機械番号を併せてご連絡ください。
なお，部品をご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

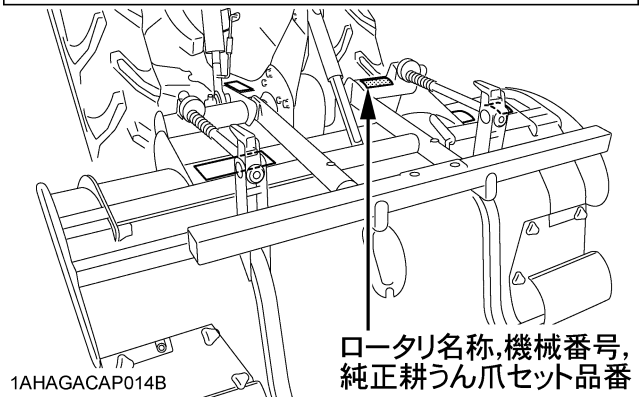
警　告

＊ 危険ですので，機械の改造はしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

サイドドライブ仕様



センタドライブ仕様



◆ 補修用部品の供給年限について

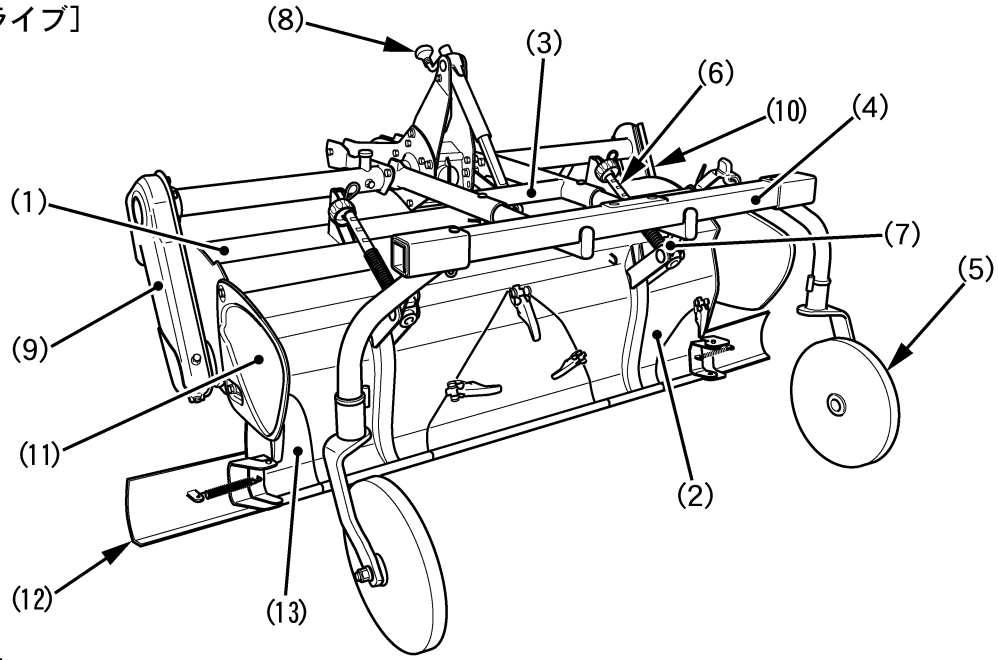
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後 12 年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

補　足

＊ 純正耕うん爪セット品番をロータリ名称・機械番号を記したラベルの下に記載しております。
部品交換の際にご活用ください。

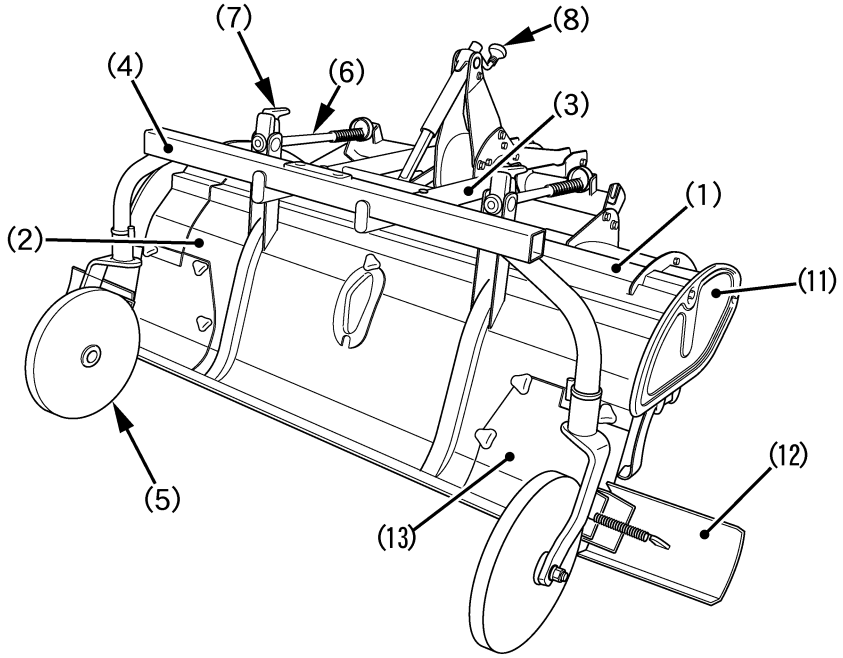
各部の名称

［サイドドライブ］



1AHAGACAP046A

［センタドライブ］



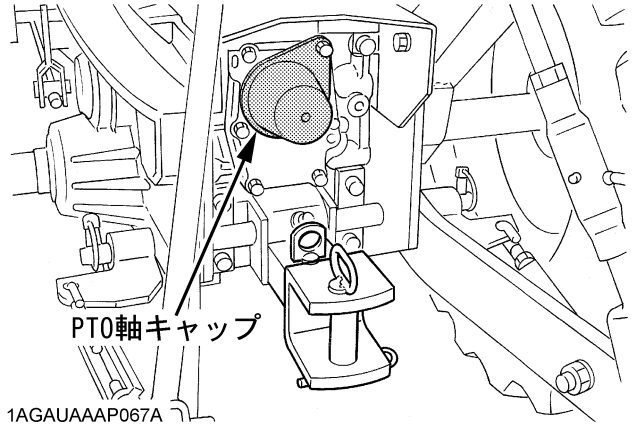
1AHAGACAP047A

（１） ロータリカバー１
（２） ロータリカバー２
（３） 後２輪ホルダ１
（４） 後２輪ホルダ２
（５） 後２輪
（６） ロッド
（７） オートハンガレバー
（８） 後２輪ハンドル
（９） チェーンケース
（10） サイドフレーム
（11） サイドカバー
（12） 延長カバー
（13） 補助カバー

ロータリの着脱のしかた

注　意

＊ ロータリの取付け・取外しは，平たんな場所を選び，トラクタとロータリの間には立たないでください。又，ジョイントを着脱する場合はエンジンを止めて駐車ブレーキを掛けてください。
＊ ロータリの着脱時は必ずスタンド又は後２輪を取付けてください。
＊ ロータリを外した状態で，PTO 軸を回転させないでください。
＊ PTO 軸を使わない場合は，必ず PTO 軸キャップを取付けてください。
＊ PTO 軸キャップを使わない場合は，大切に保管してください。
（PTO 軸キャップは，出荷部品袋に入っています。）



トラクタとの組合せ

トラクタ		JB11	JB13	JB14	JB16	JB18
ロータリ	RS10JSE	●				
	RS11J(E)		●	○	○	○
	RS12J		○	●	●	●
	RS13J		○	○	●	●
	RS14J		○	○	●	●
	RS15J		○	○	●	●
	RK11J		●	●	●	●
	RK11J(SE)	●	●			
	RK13J		○	○	●	●

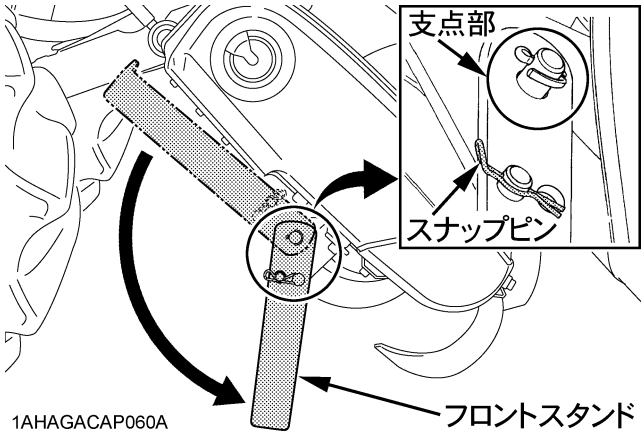
●印はクボタが推奨する組み合わせです。

ロータリの着脱のしかた

ロータリ着脱時の準備

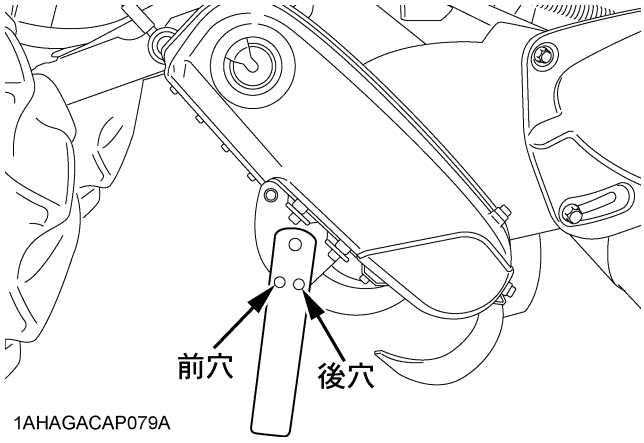
1. [標準仕様]
[サイドドライブ]

1. フロントスタンドのスナップピンを抜き，下側へ回動させてください。
2. スタンドのピン穴を合わせ，スタンドの支点部を押し，スナップピンで抜け止めしてください。



3. RS11J ～ RS15J については，下表を参考にセットしてください。

トラクタ	スタンドのセット穴位置
JB13, JB14	後穴
JB16, JB18	前穴

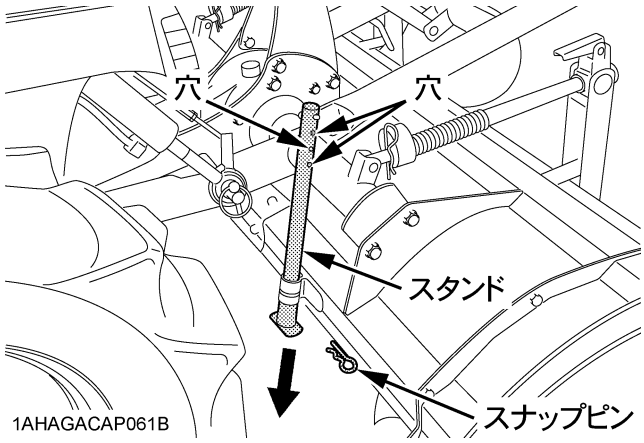


[センタドライブ]

1. スタンドのスナップピンを抜き，スタンドを下側に移動させてください。
2. スタンドのピン穴を合わせ，スナップピンを差して抜け止めしてください。

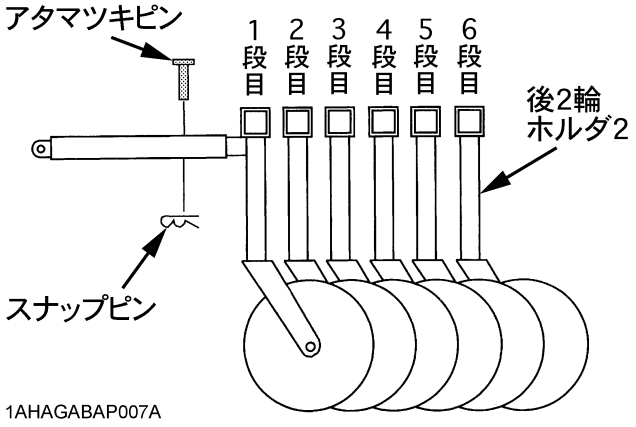
3. 次表を参考にスタンドをセットしてください。

トラクタ	スタンドのセット穴位置
JB11	上から３番目
JB13, JB14	上から２番目
JB16, JB18	一番上

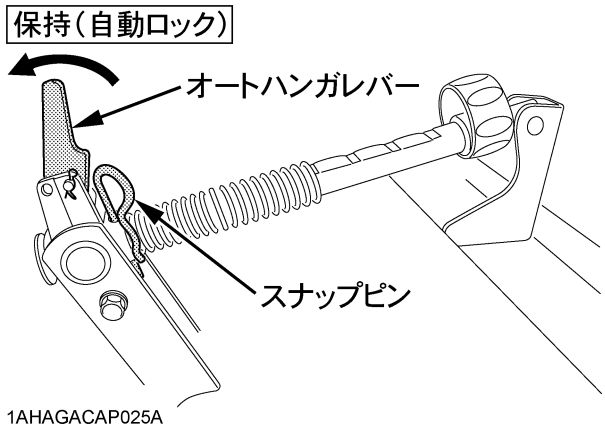


[B 仕様]

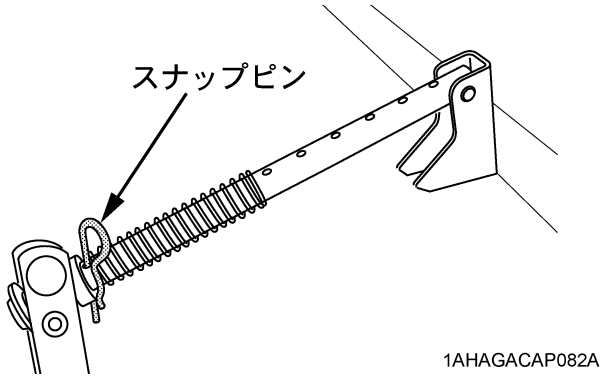
後２輪を取付け，後２輪ホルダ２を一番後方（６段目）の穴にセットしてください。



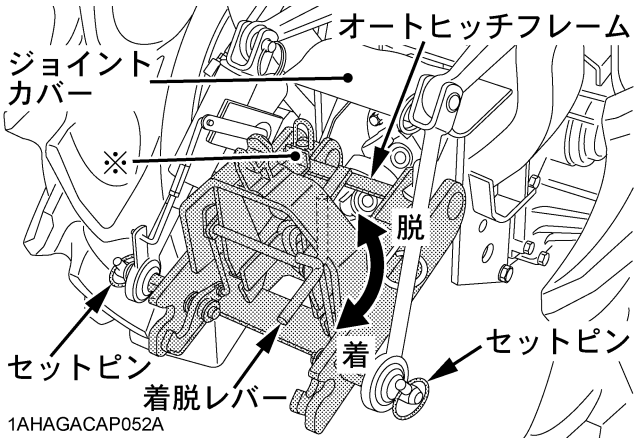
2. ［標準仕様］
ロータリカバー２を最下げにし，オートハンガレバーを**［保持］**の位置にし，スナップピンをセットしてロータリカバー２をロックしてください。（作業時は**［解除］**にし，スナップピンを抜いてフリーの状態にしてください。）



［E 仕様］
ロータリカバー２を最下げにし，ロッドの１番後方の穴にスナップピンをセットしてカバーをロックしてください。（作業時はスナップピンを抜いてフリーの状態にしてください。）

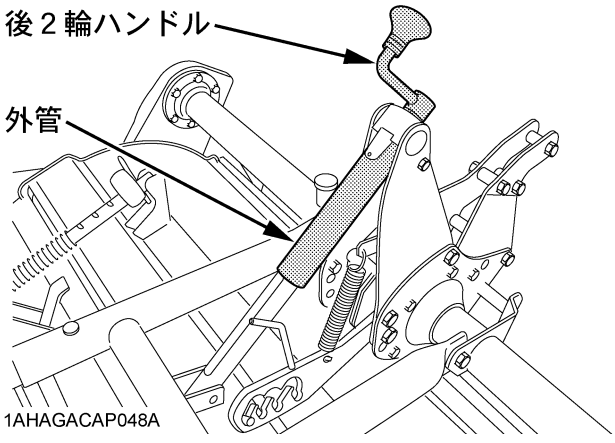


■ 2P フレームの取付け【 S 仕様】
1. 2P フレームをトラクタの２点リンクブラケットの U 金具部にはめ込み，ロータリ連結ピンとベータピンで取付けてください。
2. リフトロッドをセットピンで取付けてください。
3. ユニバーサルジョイントを図のように T 字部が上側になるように取付けてください。その際，ブッシュが脱落しないようにしてください。
4. フレーム取付け後，ジョイントカバーを 2P フレームの※部にひっかけてください。



5. ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を下表を参考にして内管に貼ってある耕深ラベルの目盛りに合せてください（ほ場の状態やバラツキによる多少の誤差はあります）。また，ロータリを取外すとき以外は着脱レバーを**［着］**側に倒します。

トラクタ型式	着脱時の目盛り
JB14	1
JB16, JB18	2



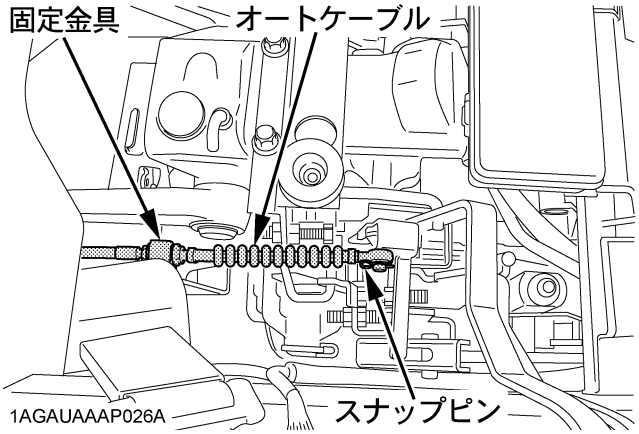
ロータリの着脱のしかた

取外し方【トラクタの標準仕様・M仕様】

注　意

＊ オートケーブルの着脱はロータリを接地させ，エンジンを停止させてから行なってください。ロータリが下がり，傷害事故を引起こすおそれがあります。

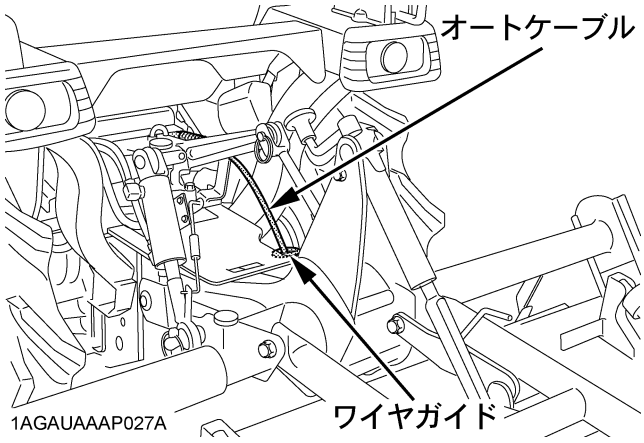
1. ロータリを油圧レバーで接地させ，エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけてください。
2. オート耕深レバーを下げ，**【切】**位置にしてください。
3. オートケーブルを固定金具から外してください。
4. スナップピンを外し，オートケーブルの先端をピンから外してください。



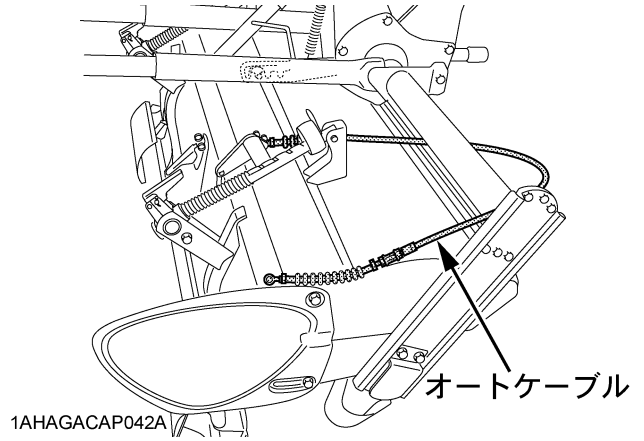
補　足

＊ 外したスナップピン・ケーブルは，紛失したり傷めたりしないよう大切に保管してください。

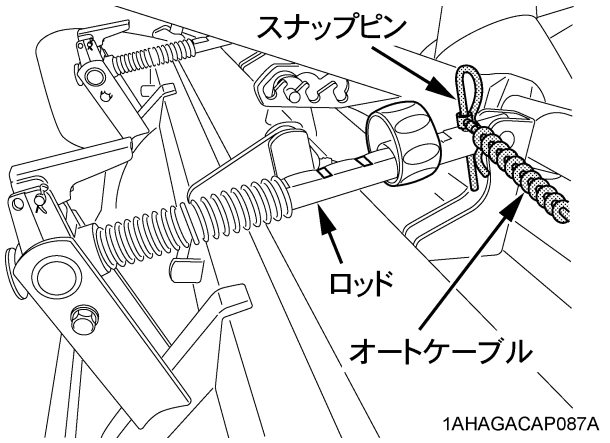
5. オートケーブルをワイヤガイドから抜いてください。



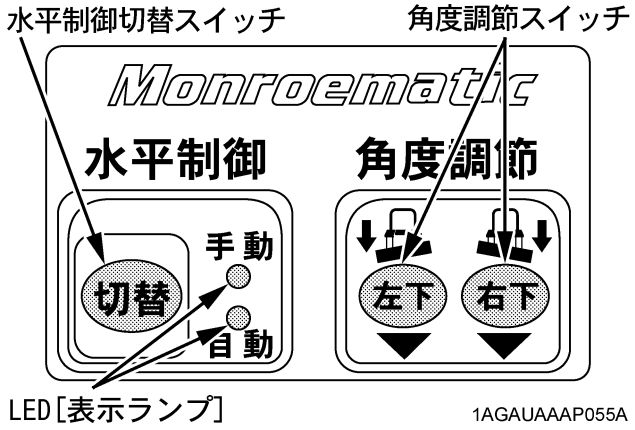
6. オートケーブルをロータリ側に収納してください。



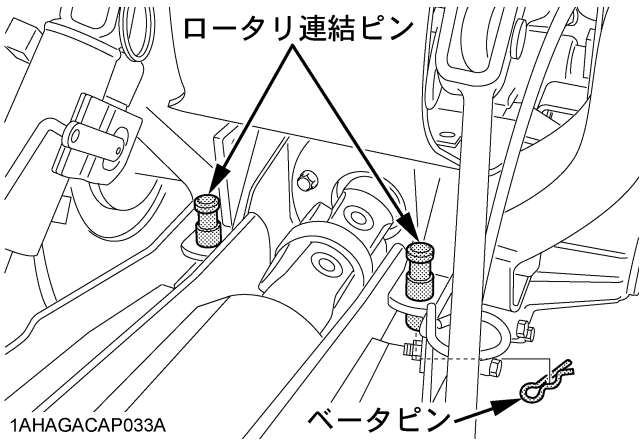
図のようにオートケーブルの先端をスナップピンでロッドに取付けるとオートケーブルがすっきりと収納できます。



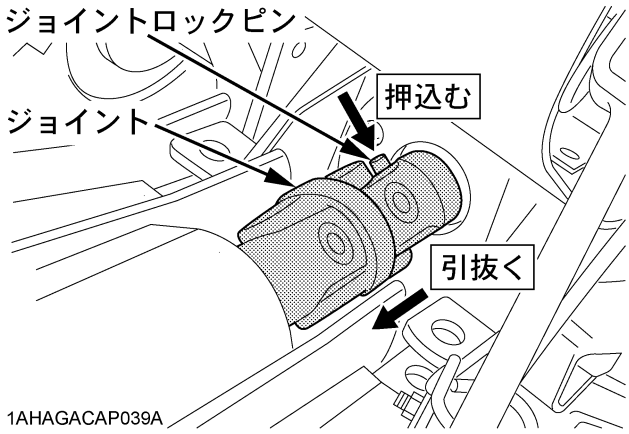
7. ロータリを最上げの位置で水平制御切換スイッチを**［手動］**にしてください。**［M 仕様］**



8. フロントスタンドを立てて，後方はロータリカバー２をロックしてロータリを支えてください。**［標準仕様・E・SE 仕様］**
9. 油圧レバーでロータリを耕うん爪の先端が地上から約10cmの位置になるまで降ろしてください。
10. エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけて落下速度調整グリップで油圧ロックしてください。
11. ベータピンを抜き，ロータリ連結ピンを抜いてください。



12. ジョイントロックピンを押え込みながら，ロータリ側へジョイントを引抜いてください。

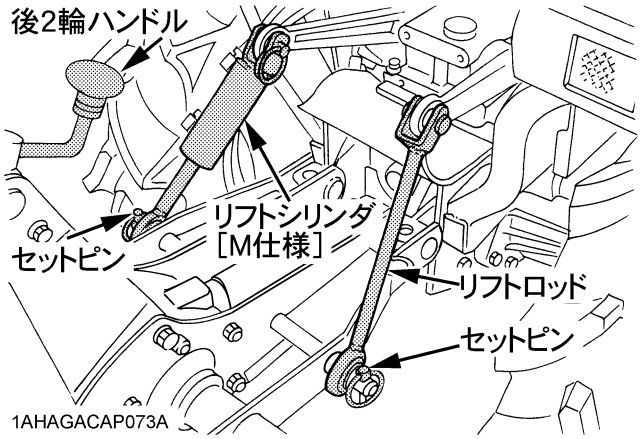


補　足

＊ ジョイントは引抜くと，ロータリ側の軸に差込まれた状態になります。ロータリを下向きにすると脱落するので，紛失しないよう注意してください。

13. 落下速度調整グリップで油圧ロックを解除し，ロータリを油圧レバーで接地させてください。
14. スナップリングを抜いて，トラクタのリフトアームからリフトロッドを外してください。**［JB11 のみ］**

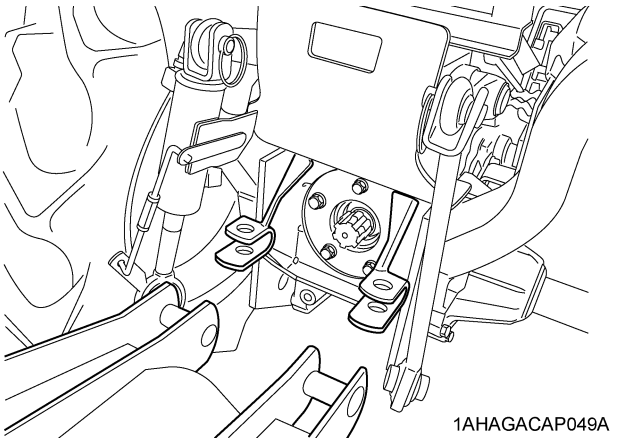
15. セットピンを抜いて，ロータリからリフトロッド及びリフトシリンダ**［M 仕様］**を外してください。



補　足

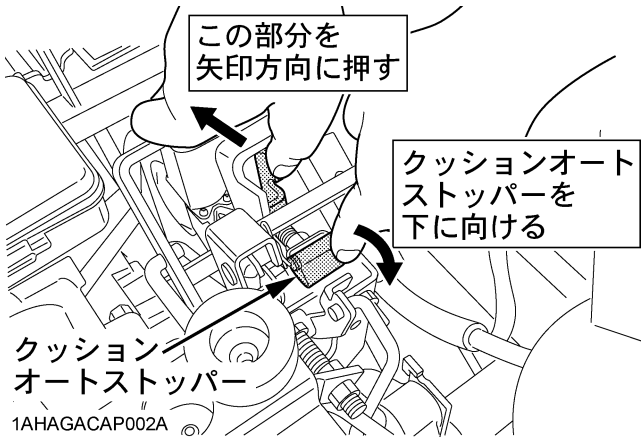
＊ 外れにくい場合は後２輪ハンドルを少し回すと外れやすくなります。**［B 仕様］**

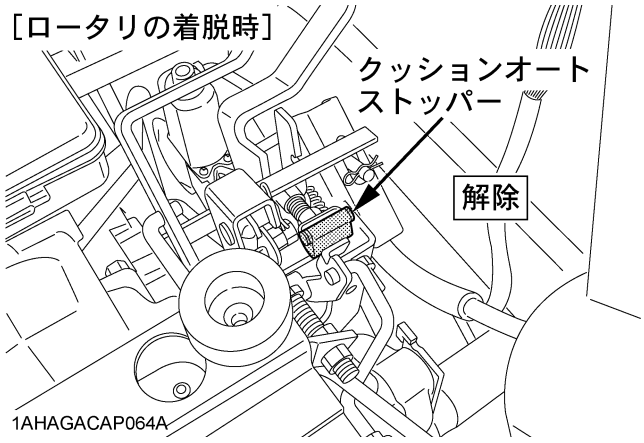
16. トラクタをゆっくり前進させてロータリを取外してください。

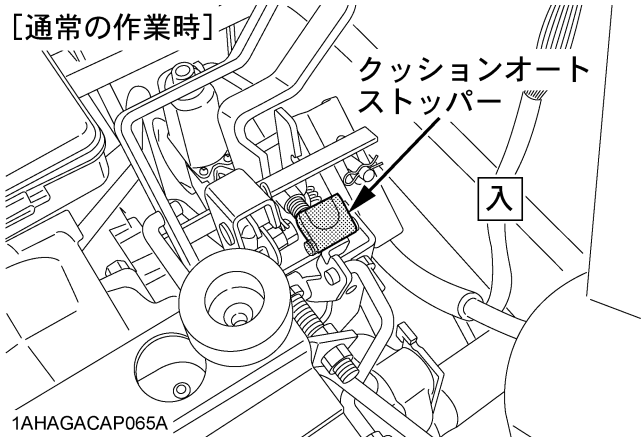


［S 仕様］

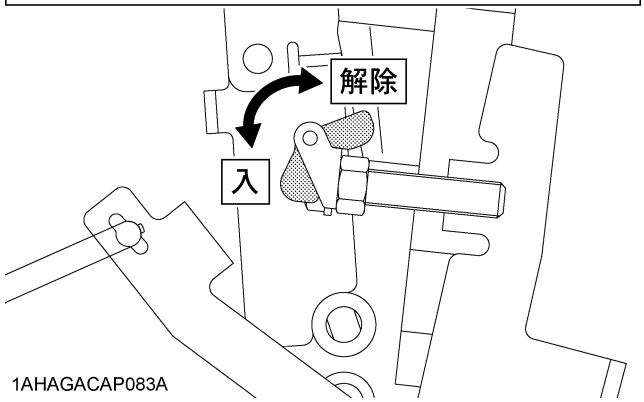
1. オートケーブルが外れていることを確認してください。
2. ロータリが着脱できる状態に，スタンド又は後２輪をセットしてください。
   （**“ロータリ着脱時の準備”**の項参照）
3. ロータリを最上げにして，クッションオートストッパを**［解除］**の位置にしてクッションオートを解除してください。







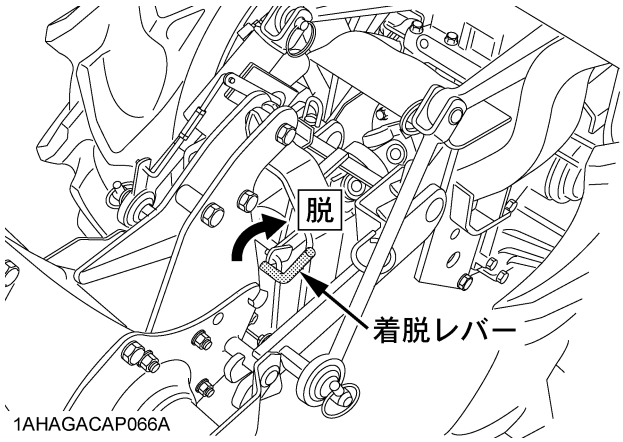
クッションオートストッパーの[解除・入]位置



補　足

＊ クッションオートを解除にしないと2Pフレームの落下速度が遅くなり，スムーズに着脱できません。

4. 必ずロータリを地面より上げた状態にして着脱レバーを**［脱］**の位置にしてください。



5. ロータリをゆっくり下げ，ロータリと 2P フレームを分離してください。

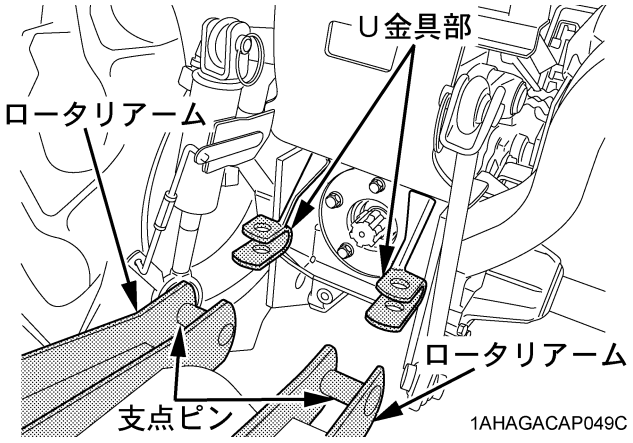
取付け方【トラクタの標準仕様・M仕様】

注　意

＊ オートケーブルの着脱はロータリを接地させ，エンジンを停止させてから行なってください。ロータリが下がり，傷害事故を引起こすおそれがあります。

取外しと逆の方法で行なってください。

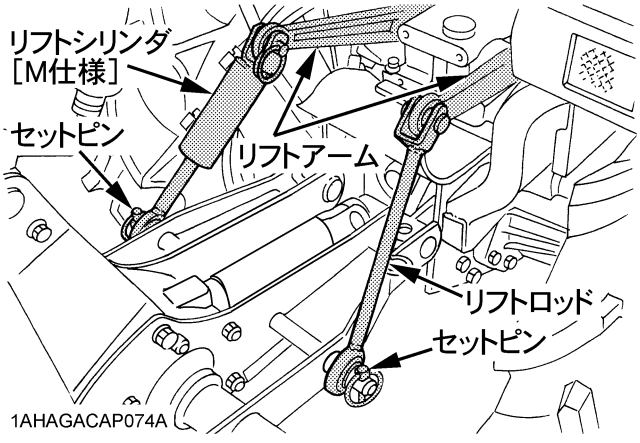
1. トラクタの取付け部が，ロータリの取付け部と接近するまで，トラクタを後進させて駐車ブレーキをかけてください。
2. ２点リンクブラケットの U 金具部に，ロータリアームの支点ピンを合せ，ロータリを押して入れてください。



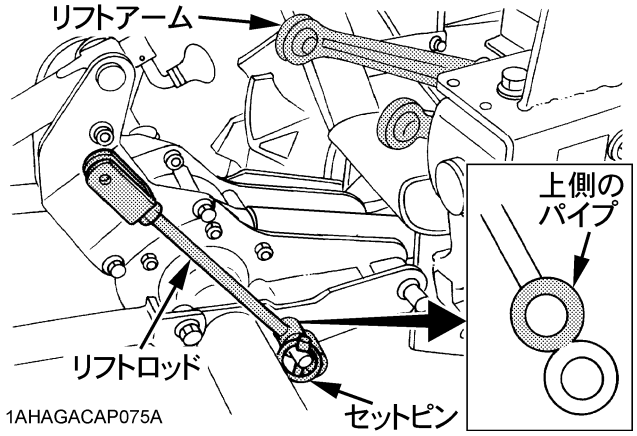
3.

[JB11 以外]

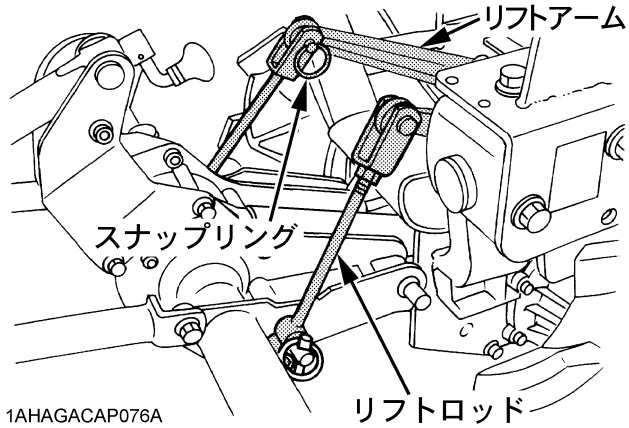
油圧レバーでリフトアームをいっぱい下げ，リフトロッド及びリフトシリンダ**［M 仕様］**をセットピンでロータリに取付けてください。



[JB11]
油圧レバーでリフトアームをいっぱい下げ，リフトロッドの上側のパイプをセットピンでロータリに取付けてください。

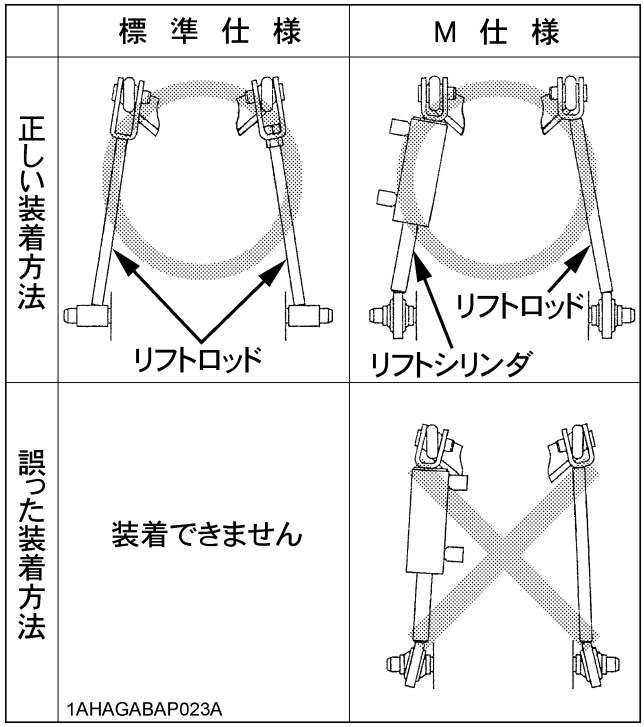


リフトロッドをトラクタのリフトアームにスナップリングで取付けてください。

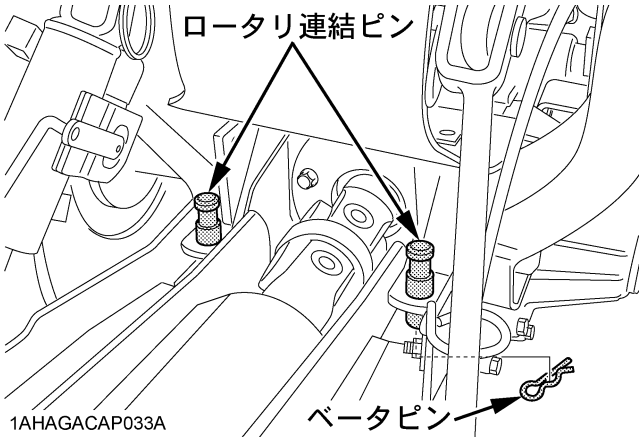


補　足

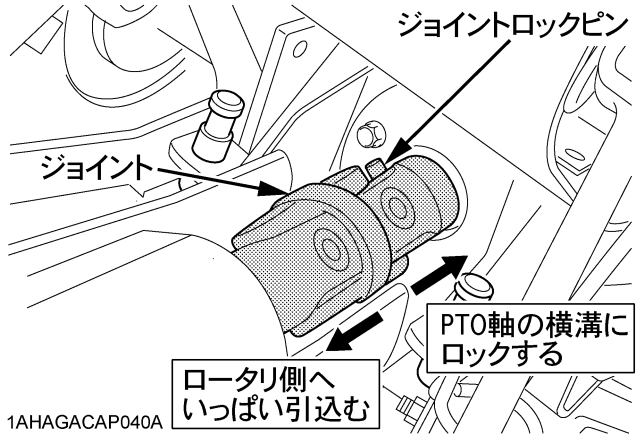
＊ リフトロッドとリフトシリンダがトラクタ後方から見て下図の形状になっているか確認してください。



4. 連結が終ると，油圧レバーでロータリを地上から約 10cm 吊上げエンジンを停止し，落下速度調整グリップで油圧ロックしてからロータリ連結ピンを差込み，ベータピンで取付けてください。



5. ロータリ側へジョイントをいっぱい引込み，ジョイントロックピンを押えながら，トラクタ側の PTO 軸のスプラインに合せて押込み横溝にロックしてください。

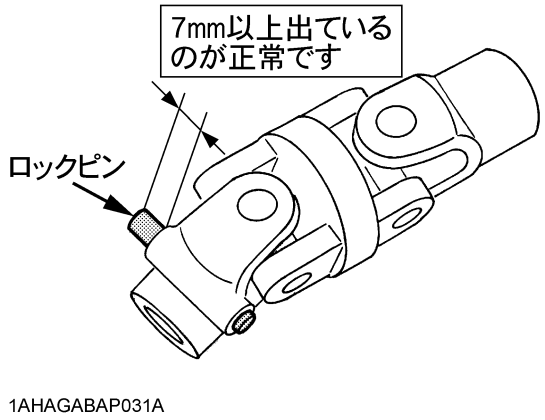


補　足

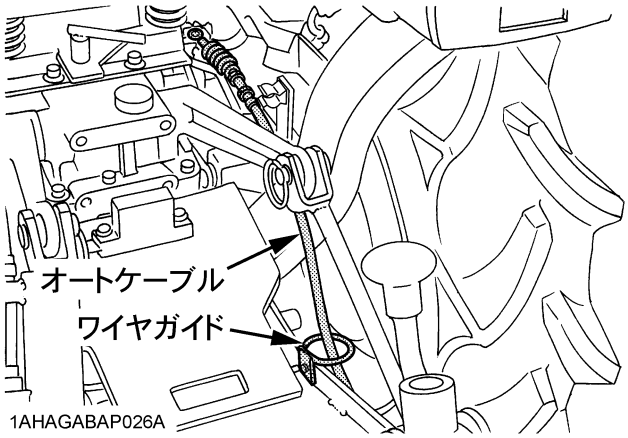
＊ ジョイントロックピンが作動しにくいときは，注油すると軽く動きます。

警　告

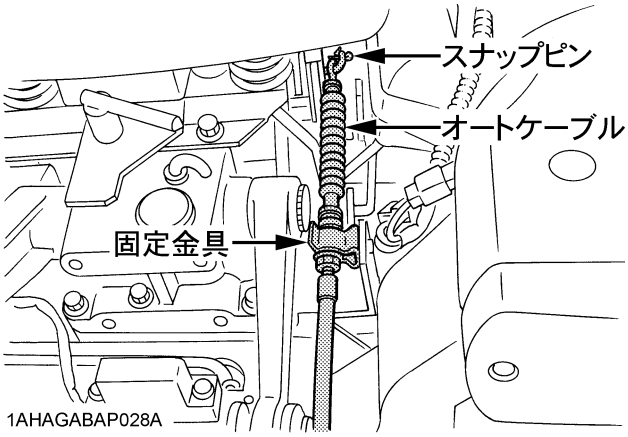
＊ ユニバーサルジョイントのロックピンが，正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が 7 ㎜ 以上出ているか確認してください。



6. エンジンを停止したままで，オート耕深レバーを下げ，**［切］**位置にしてください。
7. オートケーブルをワイヤガイドに通してください。

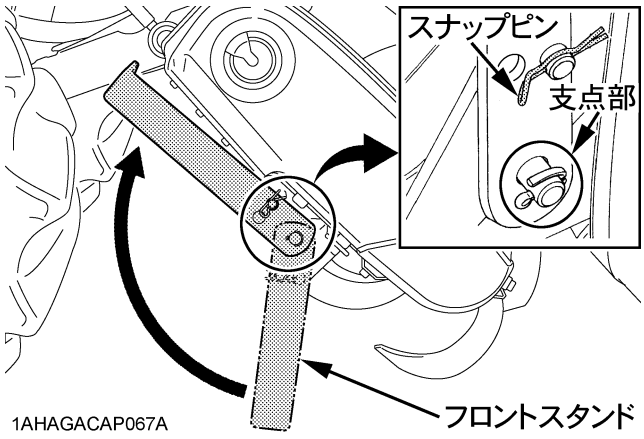


8. オートケーブルの先端をピンに差込み，スナップピンで抜け止めしてください。
9. オートケーブルを固定金具に挿入してください。



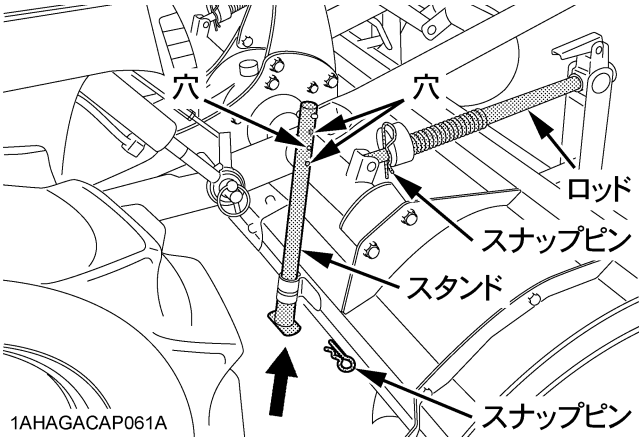
10. ロッドの１番前方の穴にスナップピンをセットしロータリカバー２を最下げ位置にしてください。
11. スタンドを格納してください。**［B 仕様以外］**

［サイドドライブ］



ロータリの着脱のしかた

[センタドライブ]



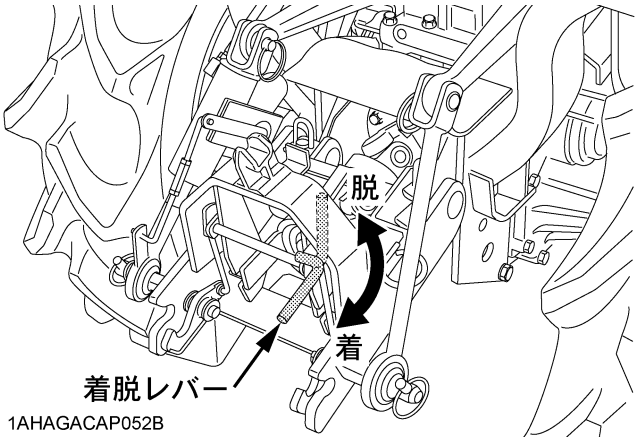
補　足

＊ 長期間保管するときや洗車後は錆付防止のため，必ず一度ユニバーサルジョイントを取外し，泥や土を取除き，①ロータリ側入力軸，②ジョイントのしゅう動部にグリースを塗布してください。

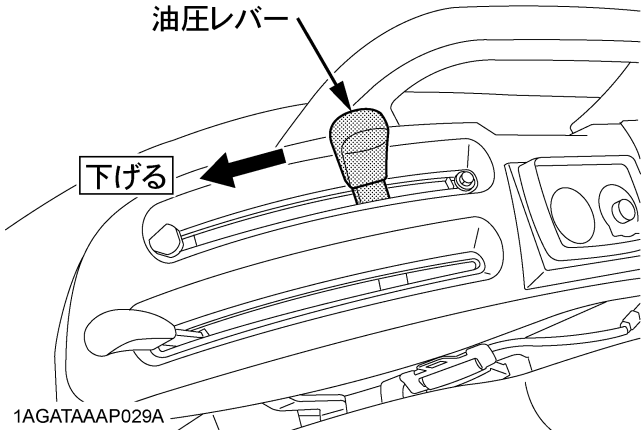
＊ M 仕様のロータリ取付け後は水平制御切換スイッチを**［自動］**にしてください。

[S 仕様]

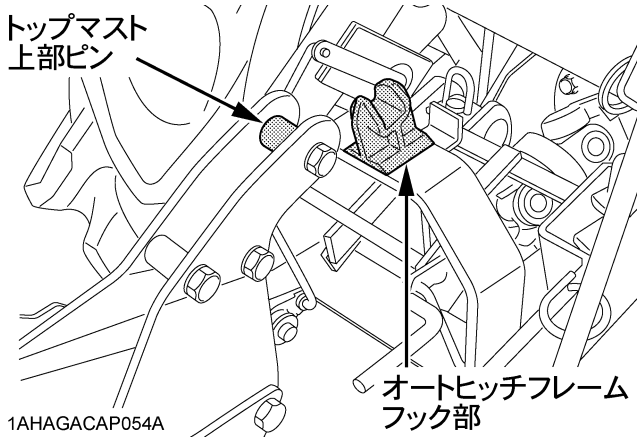
1. ロータリが着脱できる状態に，スタンド又は後２輪をセットしてください。
   (**“ロータリ着脱時の準備”**の項参照)
2. 油圧レバーを最上げにして，クッションオートストッパを**［解除］**の位置にしてください。
3. 2P フレームの着脱レバーを**［着］**の位置にしてください。



4. トラクタに乗車して，油圧レバーを**［下げ］**方向に操作し，2P フレームを降ろしてください。



5. 2P フレームのフック部先端が，トップマスト上部ピンのやや下（１～２ cm）にくるように油圧レバーを調整し，ゆっくりバックしてください。
6. 油圧レバーを，ゆっくり**［上げ］**方向に操作し，2P フレームのフック部がトップマスト上部ピンに確実に引掛ったことを確認してから，ロータリを吊上げてください。
   ジョイント部がロータリ入力軸に自動的に連結されます。

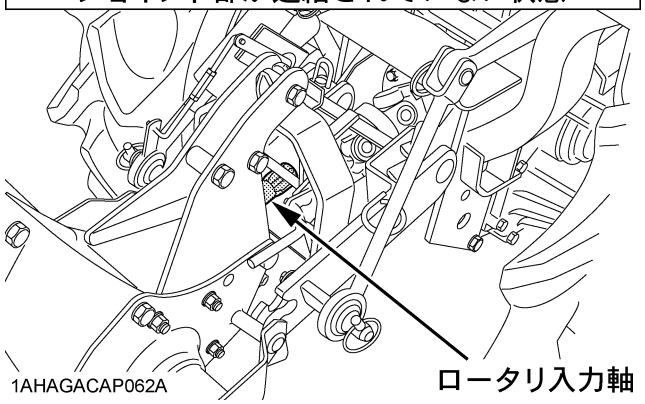


重　要

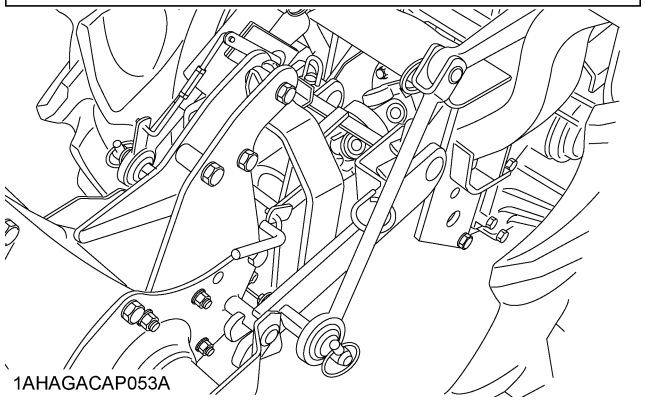
＊ バックするとき,2P フレームを下げすぎると，2P フレームとフロントカバーが当るので下げすぎないでください。

7. **“カチッ”**と音がせずジョイント部がロータリ入力軸と連結されない場合は，爪が地面から 30cm 程浮いていることと，走行レバー（主変速等）が中立になっているのを確認してから PTO 変速レバーを１段に入れ，アイドリング状態でジョイントを回転させると，ジョイント部がロータリ入力軸に自動的に連結されます。

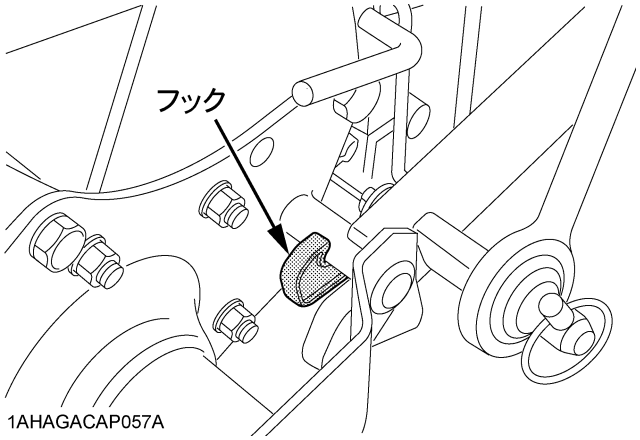
ジョイント部が連結されていない状態



ジョイント部が連結完了した状態



8. 装着後，2P フレームの左右のフックが，ロータリのロアリンクピンに確実に引掛っているか確認してください。



9. オートケーブルを取付けてください。
10. ロータリを最上げにして，クッションオートストッパを**【入】**の位置にしてください。

ロータリの上手な使い方

警　告

＊ ロータリのユニバーサルジョイントや耕うん爪に接触すると，巻込まれなどの死傷事故のおそれがあります。回転中は近づかないでください。
＊ 必ず座席に座って，ロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
＊ ロータリの上に人を乗せたり，運転者以外の人をトラクタに乗せたりしないでください。転落，巻込まれなど，重大事故の原因になります。

注　意

＊ ユニバーサルジョイントの安全カバーを外したままで使用しないでください。
傷害事故を引起こすおそれがあります。

適応作業速度

作業目的と耕作地の条件に合せて，車速とPTO変速を決めてください。
下表は，作業のめやすとして参照してください。

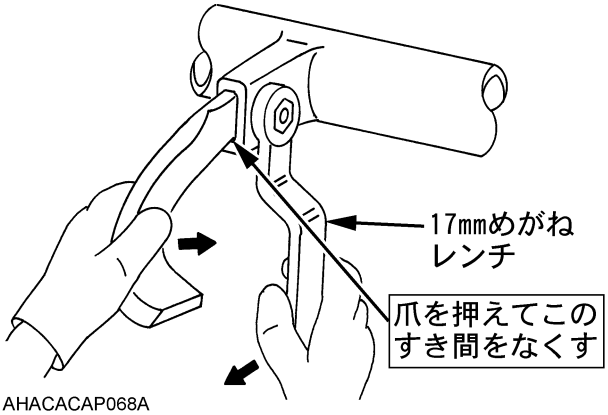
変速レバー位置と作業			
車速	1段	2段	逆転
低－1速	水田畑作（荒起し畝立て）	水田畑作（細土耕うん一般耕うん畝立て）	土寄せ
低－2速			
低－3速	代かき作業		
高－1速			

なた爪の取付け方

注　意

爪の交換及び増締めするときは，傷害事故を引起すおそれがありますので次のことを守ってください。

- **＊ トラクタを平たんな広い場所に置いてください。**
- **＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてください。**
- **＊ 落下速度調整グリップを，右いっぱいに回し，ロータリの落下を防止してください。**
- **＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保してください。**
- **＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認してください。**



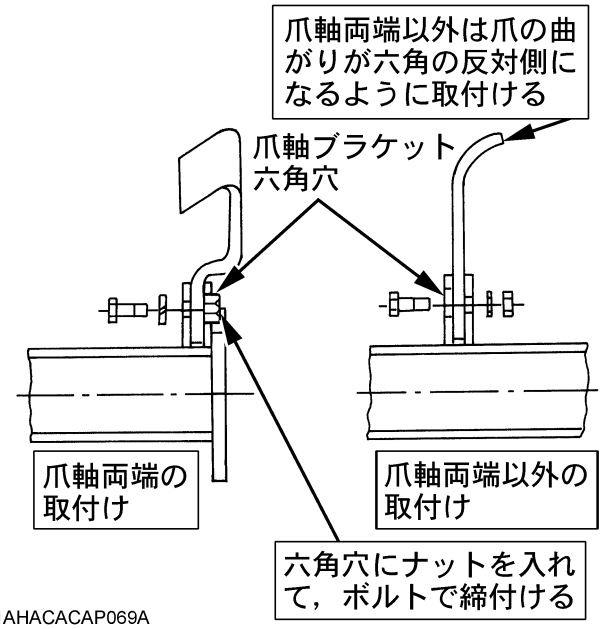
1AHACACAP068A

補　足

- ＊ めがねレンチで，力いっぱい締付けてください。
  [締付けトルク
  7840 ～ 8820N・cm（800 ～ 900kgf・cm)]
- ＊ 爪を抜いて作業すると，爪のバランスが狂い，振動や騒音がでることがありますので，ご注意ください。
- ＊ 耕うん爪は，クボタ純正部品を使用してください。
- ＊ ナットを締付けるときは，トラクタ側の PTO 変速レバーを入れることにより爪軸をロックすることができ，力を入れてナットを締付けることができます。

■サイドドライブ仕様

1. 爪軸両端以外は六角穴にボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れてナットで締付けてください。



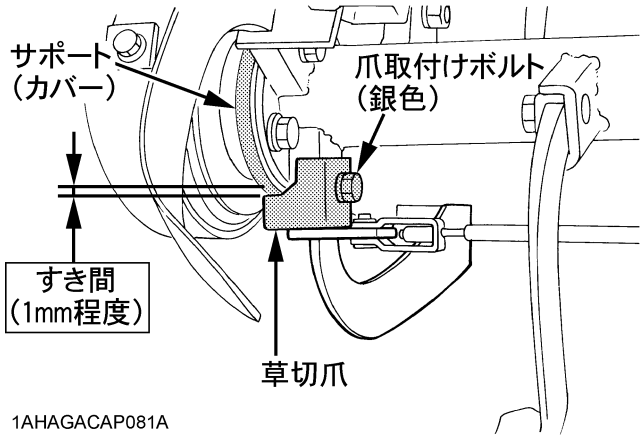
1AHACACAP069A

[サイドドライブロータリ]

爪軸両端で白ペンキを塗ったブラケット	白ペンキを塗っていないブラケット
332 号爪	331 号爪

■草切爪【サイドドライブ仕様】

爪軸両端の 331 号爪には草切爪（R，L）をそれぞれ銀色の爪取付けボルトで，共締めして取付けてください。爪軸正転方向に対し爪ブラケットの前に草切爪がくるように，またサポート(カバー)とのすき間を 1 ㎜程度にして取付けてください。



1AHAGACAP081A

■つきま線（草巻付き防止ワイヤ）【センタドライブ，E・SE 仕様を除く】

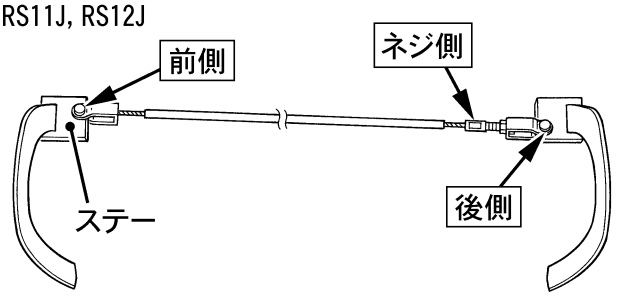
重　要

＊ 石の多いほ場では，つきま線の使用を控えてください。
＊ ワイヤが損傷した場合は，すみやかにワイヤを新品に交換してください。但し，被服している樹脂が摩耗もしくは切損しても使用は可能です。
＊ 耕うん爪は，クボタ純正部品を使用してください。
＊ 普通爪を使用する場合は，つきま線が脱落するので外してください。
＊ カマなどでワイヤを傷つけないでください。

◆ つきま線の取付け方

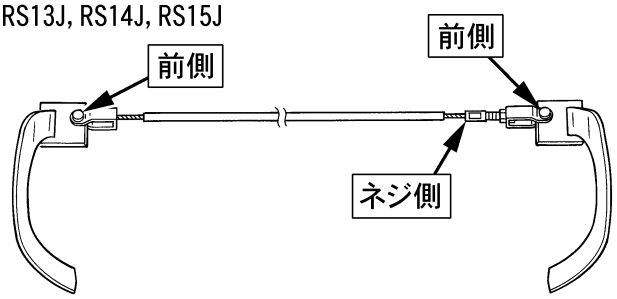
1. 爪軸両端の爪（計４本）を外し，ワイヤ両端のステーの四角穴に以下の表と図を参照して爪を差込み，ブラケットに取付けてください。このとき，ワイヤがステーの丸穴を結びほぼ一直線になるようにしてください。
   ワイヤには左右の方向があり，以下の図のようにネジ側をサイドフレーム側に取付けてください。

RS11J, RS12J



1AHAGABAP032B

RS13J, RS14J, RS15J



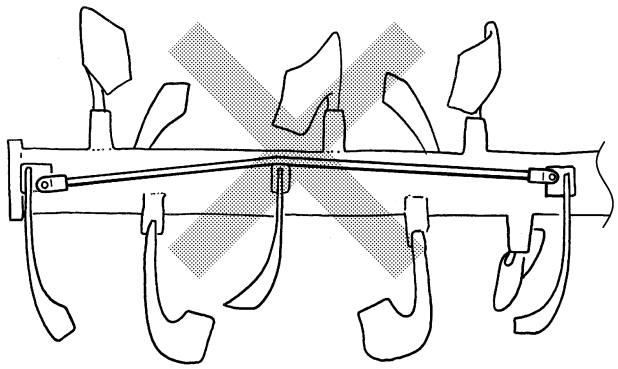
1AHAGABAP033B

＊ 332 号爪にも上表の指示通りに取付けます。
＊ RS12J 用ワイヤには長短各１本ずつのワイヤがありますので，長い方を増幅爪側の両端の爪ブラケットに取付けてください。

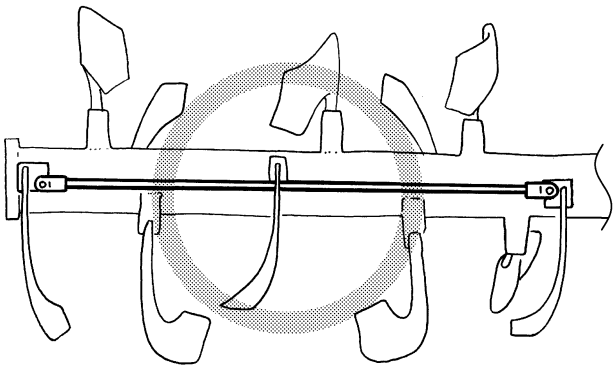
重　要

＊ ステーの取付け方法を間違うと，ワイヤが取付かなかったり，ワイヤを損傷することがあります。

＊ ワイヤが爪やブラケットに接触していないか確認してください。正しい位置に取付けられている場合，ワイヤは爪軸両端部に取付けられたステーの丸穴を結び一直線になります。もし，下図のように爪やブラケットに接触したまま取付けますと，ワイヤを損傷するおそれがあります。



1AHAFABAP0090



1AHAAACAP131A

2. ４つのステーを次の位置にワイヤを張ります。

331 号爪側→　爪先端方向いっぱいにずらせた位置

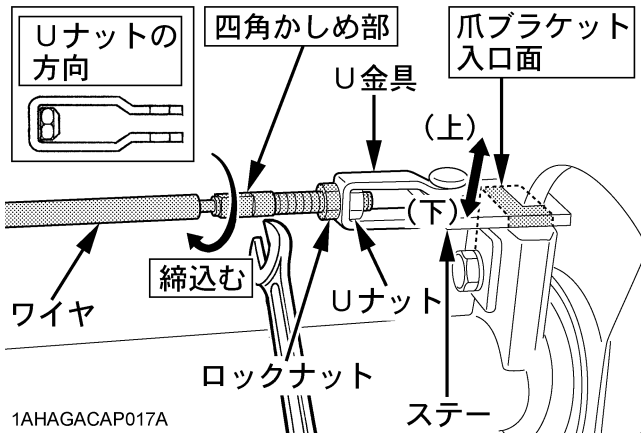
（矢印（上）方向）

増幅爪側→　爪ブラケット入口面に接触する位置

（矢印（下）方向）

ロックナットを四角かしめ部付近までゆるめ，ワイヤのネジの四角かしめ部を付属のスパナ(8-12)の８㎜側で締め込み，ロックナットで固定します。

ロックナットはワイヤのたわみ量を調整後，スパナ(8-12)の 12 ㎜側で締込んでください。



1AHAGACAP017A

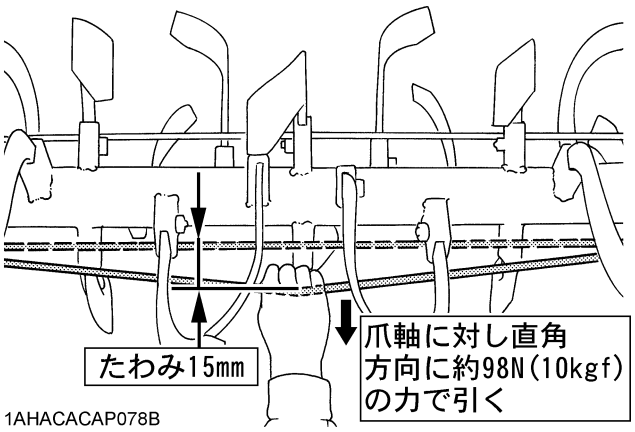
重　要

＊ ワイヤの調整はロックナットをゆるめてから，必ず付属のスパナ（8-12）で行なってください。ロックした状態での増し締めや他の工具を使用しますと，破損するおそれがあります。

＊ ワイヤの調整は必ず3.の手順でたわみ量を確認しながら行なってください。

＊ ロックナットの締付トルクが 880N・cm（90 kgf・cm)(参考値)をこえないようにしてください。

3. 爪軸の中央付近で，ワイヤを爪軸に対して直角方向に約 98N（10kgf）の力で引いたとき，ワイヤが元の位置から15㎜たわむ程度に調整してください。



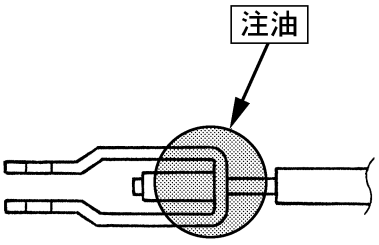
1AHACACAP078B

注　意

傷害事故防止のため，ワイヤの調整時は次の事を守ってください。
＊ ワイヤを引くときはゆっくり引き，ワイヤに体重をかけて引かないでください。

重　要

＊ 耕うん前にワイヤがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は，2,3 の手順でワイヤを調整してください。ゆるんだまま使用すると，つきま線の効果が少なくなります。ワイヤを調整するときは，ネジ部に付着した土などを洗い流し，ネジ部に注油してください。
＊ ロータリの使用後，特に長時間使用しないときは，ワイヤの図示箇所を洗浄後，注油してください。



1AHACACAP079A

補　足

＊ ワイヤを調整するとき，ある程度ワイヤが張ってくると，スパナで締めてもワイヤのネジがゆるむ（戻る）ことがあります。そのときは，ロックナットでロックしながら調整してください。

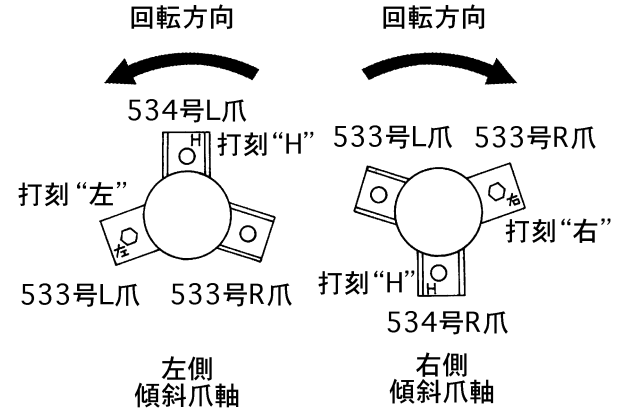
◆ つきま線の取外し方

取付け方の逆の手順で行なってください。

■センタドライブ仕様

◆ 傾斜爪軸

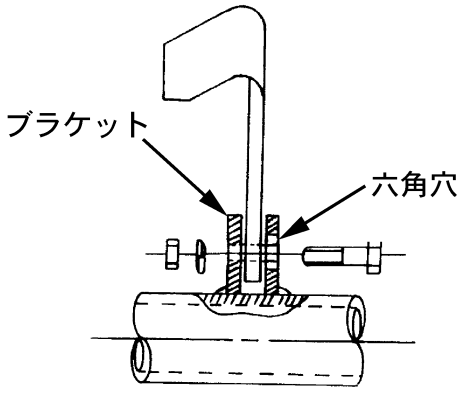
(1) **“H”** の刻印のあるブラケットには，534 号 L・R 爪を内向きに入れ，ボルト・ナットにより締付けてください。
(2) 残りのブラケットには，533 号 L・R 爪を下図のように取付けてください。



1AHAGABAP034A

◆ 爪軸

(1) 321 号爪を取付けます。
ブラケットの六角穴と逆方向に，爪の曲がりがくるようにブラケットに爪を入れてください。(但し，白ペンキを塗ったブラケットはその逆に入れてください。)
(2) ボルトは六角穴側より入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。

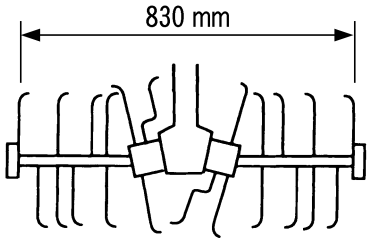


1AHADABAP007B

■耕幅調節（RK11J(SE)，RK13J）

◆ RK11J(SE)・RK13J

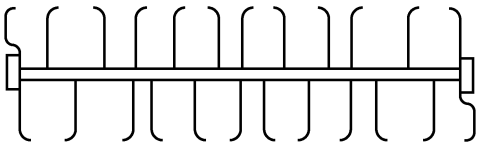
爪軸の延長部を取外すことにより耕幅を830㎜にできます。



1AHAGABAP035A

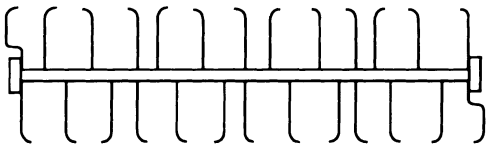
■均平耕法（耕起・細土・代かき・整地作業）

◆ RS10JSE



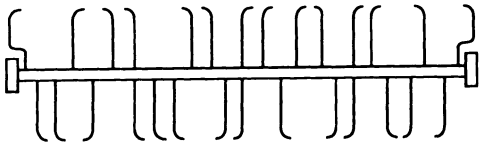
1AHAGABAP037A

◆ RS11J(E)



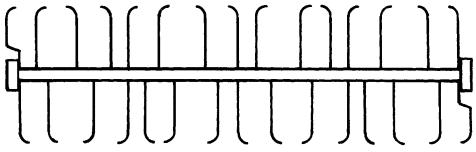
1AHAGABAP038A

◆ RS12J



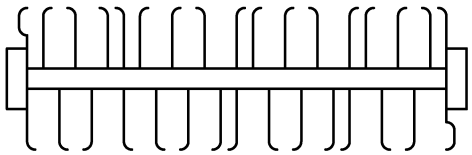
1AHAGABAP039A

◆ RS13J



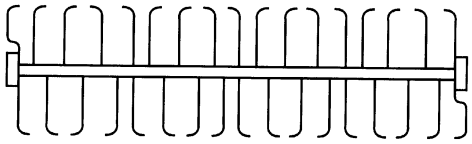
1AHAGABAP040A

◆ RS14J



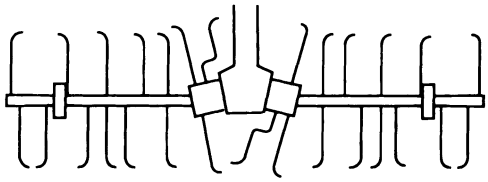
1AHAGACAP036A

◆ RS15J



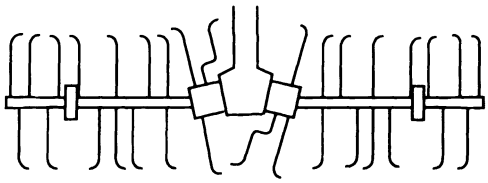
1AHAGABAP042A

◆ RK11J(SE)

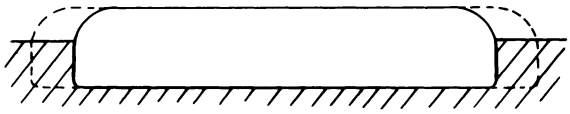


1AHAGABAP044A

◆ RK13J



1AHAGABAP045A



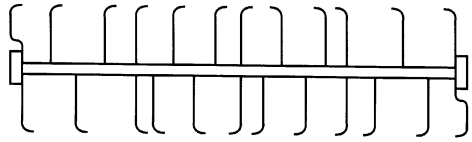
1AHAGABAP046A

■１つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土作業）

爪軸中央を基準とし他の爪はすべて内向きになるように取付けてください。
このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌を整地しないようにします。

◆ RS10JSE

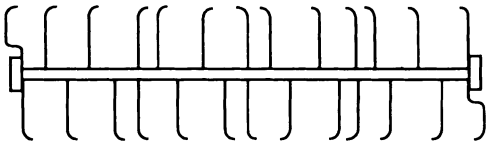
爪軸中央の爪（２本）とその両隣の爪（２本）の向きはそのままにしてください。



1AHAGABAP047A

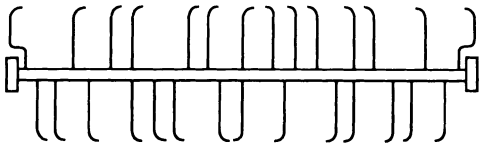
◆ RS11J (E)

爪軸中央の爪（２本）とその両隣の爪（２本）の向きはそのままにしてください。



1AHAGABAP048A

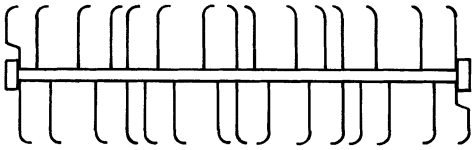
◆ RS12J



1AHAGABAP049A

◆ RS13J

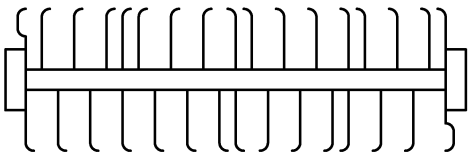
爪軸中央の爪（２本）とその両隣の爪（２本）の向きはそのままにしてください。



1AHAGABAP050A

◆ RS14J

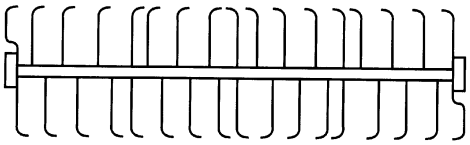
爪軸中央の爪（２本）とその両隣の爪（２本）の向きはそのままにしてください。



1AHAGACAP037A

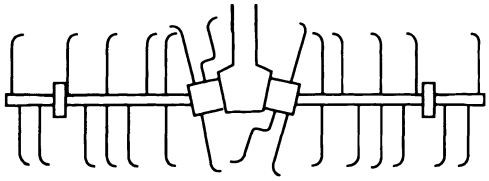
◆ RS15J

爪軸中央の爪（２本）とその両隣の爪（２本）の向きはそのままにしてください。



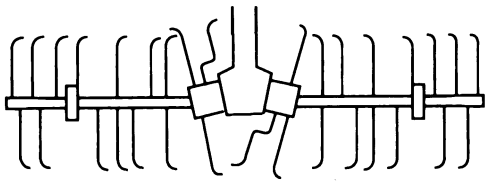
1AHAGABAP052A

◆ RK11J (SE)

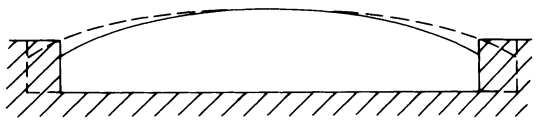


1AHAGABAP053A

◆ RK13J



1AHAGABAP054A



1AHAGABAP055A

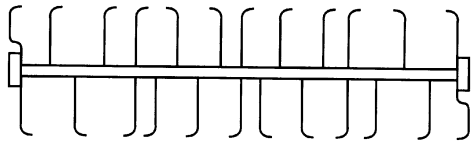
補　足

＊ １つ盛り耕法で土の抱き込みが生じる場合には，抱き込む箇所の爪向きを変更してください。

■２つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・細土及び一連畝立て作業）

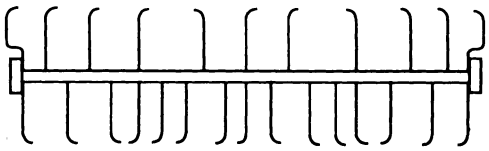
爪軸中央と両端の間でそれぞれ爪が内向きになるよう下図を参考に取付けてください。
このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌を整地しないようにします。但し，Ｖカバーで畝立てする場合は整地します。

◆ RS10JSE



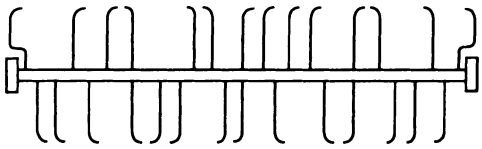
1AHAGABAP056A

◆ RS11J (E)



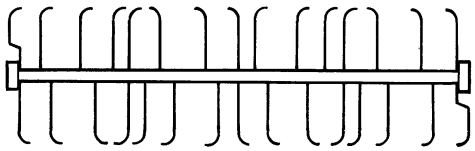
1AHAGABAP057A

◆ RS12J



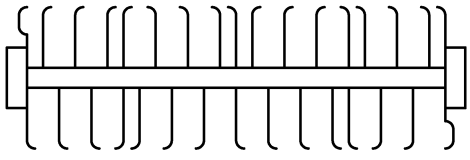
1AHAGABAP058A

◆ RS13J



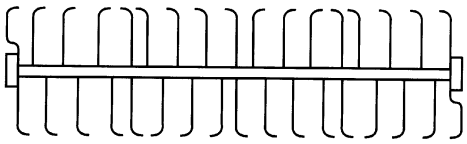
1AHAGABAP059A

◆ RS14J



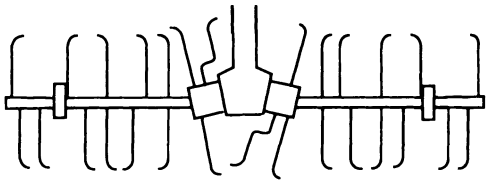
1AHAGACAP038A

◆ RS15J



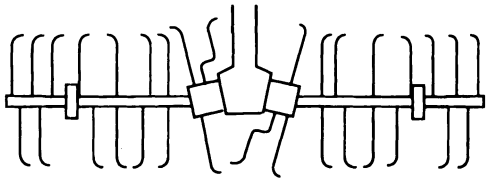
1AHAGABAP061A

◆ RK11J (SE)

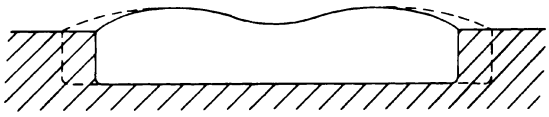


1AHAGABAP062A

◆ RK13J



1AHAGABAP063A



1AHAGABAP064A

補　足

＊　２つ盛り耕法で土の抱き込みが生じる場合には，抱き込む箇所の爪向きを変更してください。

ロータリの調整

注　意

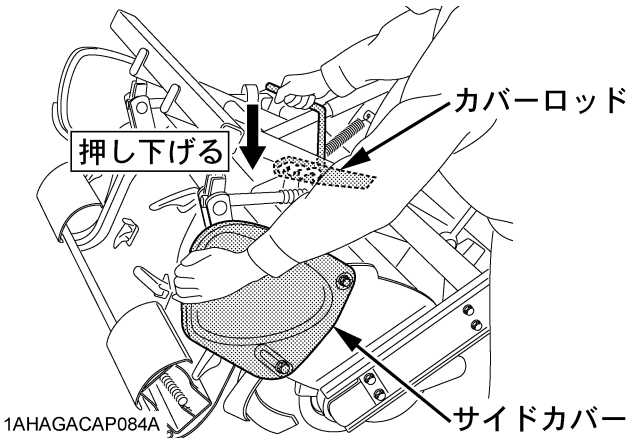
ロータリ各部の調整・着脱・交換をするときは，傷害事故を引起こすおそれがありますので，つぎのことを守ってください。

- **＊ トラクタを平たんな広い場所に置いてください。**
- **＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてください。**
- **＊ 落下速度調整グリップを，右いっぱいに回し，ロータリの落下防止をしてください。**
- **＊ 爪軸の下に木の台などを置き，より安全性を確保してください。**
- **＊ スナップピンを抜き，ロータリカバー２を下げるときは，ロータリカバー２を保持し，ロッドに手を掛けないようにしてください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。**

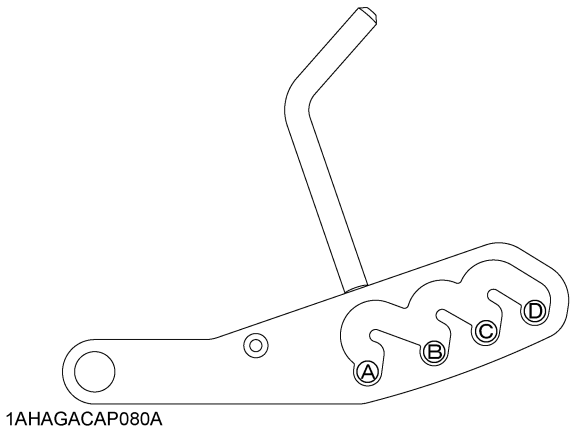
ロータリカバーの調整

■ニューフラップカバーの使用法【サイドドライブ仕様】

ニューフラップカバーは，４段階の調整が可能です。
作業に合わせて使い分けることにより，仕上がりがよくなります。
ロータリカバーの回動方法は，サイドカバー下部を手で支え，カバーロッドを押し下げることにより角度の調整ができます。



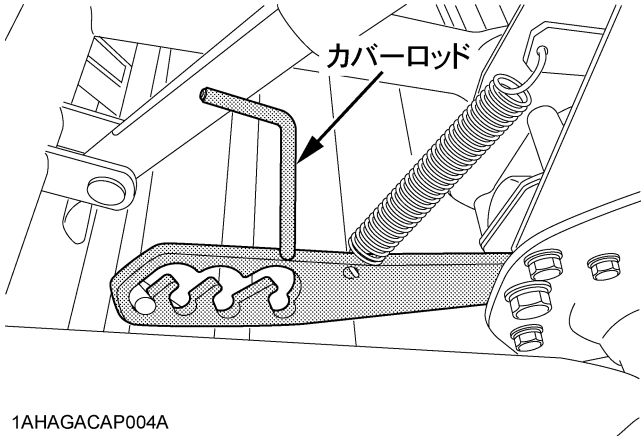
作業に合わせ，回動位置を次のように調整してください。



トラクタ / 作業	JB11，JB13	JB14，JB16，JB18
培土作業	Ⓐ又はⒷ	Ⓐ
一般耕うん	Ⓒ	Ⓑ
浅耕し	Ⓒ又はⒹ	Ⓒ
代かき	Ⓓ	Ⓓ

重　要

＊ カバーロッドを押し下げるときは，ロータリカバーが急に動き出すことがあるので，必ずサイドカバー下部を支えながら行なってください。
＊ 調整後はロータリカバー 1 のピンが，カバーロッドの溝に確実にはまっているか確認してください。



1AHAGACAP004A

補　足

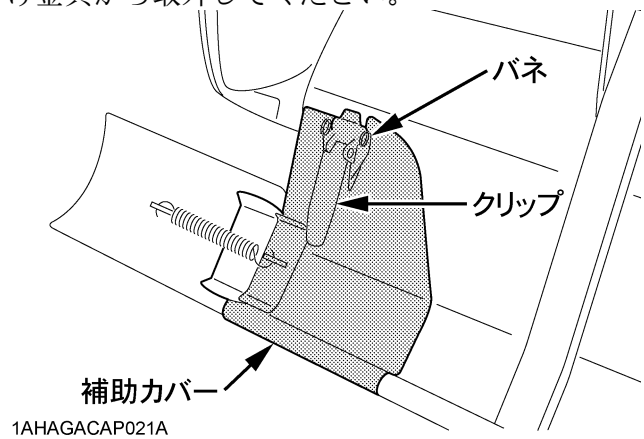
＊ 土の附着によりカバーの調整が重くなることがあります。その場合はロータリカバー内面に付着した土を落としてから調整してください。

■補助カバーの取外し方

後２輪併用で枕地を少なくする，又は片培土作業をする場合は，補助カバーを外してください。

[サイドドライブ仕様]

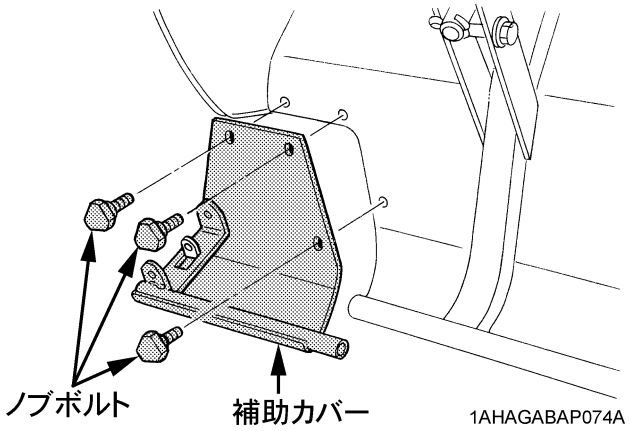
クリップを引上げ，バネをロータリカバー２のかけ金具から取外してください。



1AHAGACAP021A

[センタドライブ仕様]

ノブボルトを取外してください。



1AHAGABAP074A

補　足

＊ 補助カバーを取外したとき，ノブボルトを紛失しないように保管してください。

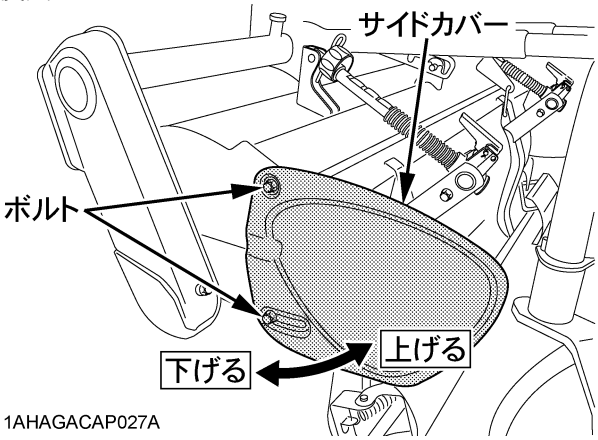
■サイドカバーの上手な使い方

注　意

＊ サイドカバー・補助カバーを外した状態でロータリを使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

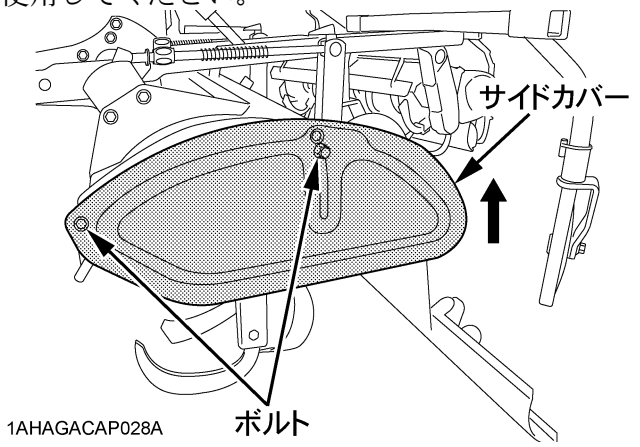
[サイドドライブ仕様]

通常はサイドカバーを上に上げてご使用ください。
土こぼれを抑えたい時は，上下のボルトを緩めサイドカバーを下げてからボルトを締め直してご使用ください。



1AHAGACAP027A

[センタドライブ仕様]
石の多いほ場・草地での作業や深起こし耕うんを行なう場合は，左右のサイドカバーを上に上げて使用してください。

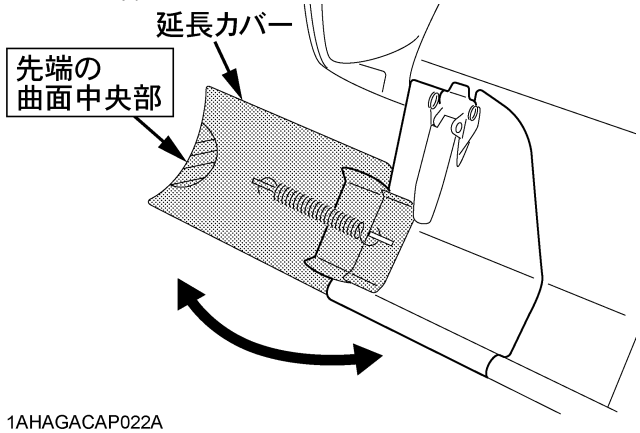


■延長カバーの使用法【E・SE 仕様を除く】

注 意

＊ 延長カバーの開閉時，指や手を挟まれないように注意してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

延長カバーを使用すると耕うん跡がきれいに仕上ります。延長カバーの開閉は先端の曲面中央部をつかみ行なってください。

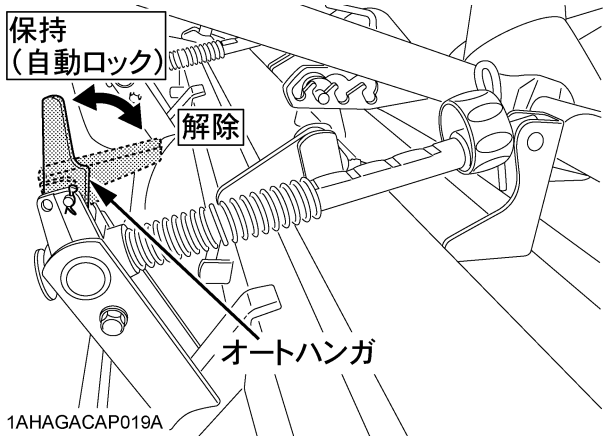


ロータリカバー２の調整

注 意

＊ オートハンガの操作は，傷害事故を引起こすおそれがありますので，ロータリを降ろしエンジンを停止してから行なってください。
＊ オートハンガを操作するときは，ロータリカバー２を保持し，ロッドに手を掛けないようにしてください。傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ オートハンガを［解除］にした時は，ただちにロータリカバー２の保持を解除してください。

■ロータリカバー２の保持
[E・SE 仕様を除く]
◆ オートハンガーでロータリカバー２を保持する場合
オートハンガを左右２ヶ所とも**［保持］**（自動ロック）の位置にし，ロータリカバー２を持ち上げると最上げ位置付近で**“カチッ”**とロックされた音がし，自動的にロータリカバー２が保持されます。

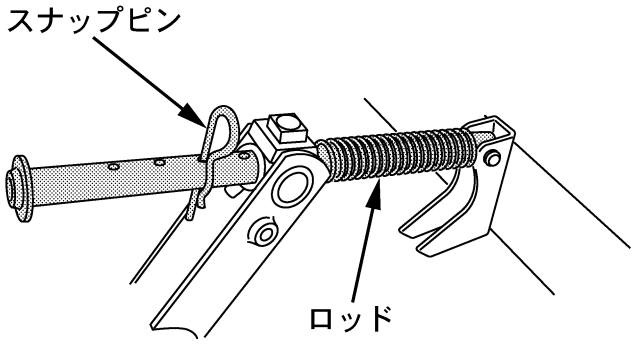


◆ オートハンガでロータリカバー２の保持を解除する場合
ロータリカバー２を手で支えずに，オートハンガを左右２ヶ所とも**［解除］**の位置にしてください。ロータリカバー２を少し持ち上げると**“カチッ”**とロックの外れた音がし，自動的にロータリカバー２の保持が解除され，ロータリカバー２が下がります。

[E・SE 仕様]

◆ スナップピンでロータリカバー２を保持する場合

スナップピンを使用することでロータリカバーを持ち上げた状態で作業することができます。
ロッド前方のスナップピンを取り外し，ロータリカバーを持ち上げ，ロッド後方の穴に取り付けてください。



1AHAGACAP077A

◆ スナップピンでロータリカバー２の保持を解除する場合

ロータリカバー２を手で支えるか，オートハンガを使用して，ロータリカバー２を保持してください。
左右２ヶ所ともスナップピンを取り外すとロータリカバー２を下げることができます。

重　要

＊ オートハンガで**[保持]**する時は，必ず左右のオートハンガが**[保持]**位置になっているか，またオートハンガのピンがロッドの穴に確実に入っているかを確認してください。
＊ スナップピンは左右同じ位置に取付けてください。
＊ オートハンガの前側にスナップピンを取付けて，カバーがロックされた状態で作業しないでください。
＊ オートハンガ・スナップピンとも，保持を解除する場合は，特にロータリの下や周辺の安全確認を行ってください。
＊ ロータリカバー２を保持した状態では絶対に走行しないでください。走行する場合は必ず保持を解除し，ロータリカバー２を下ろしてください。
＊ 長期間保管する時，あるいは作業を終了した後は，ロータリカバー２の保持を解除し，最下げ位置にしてください。

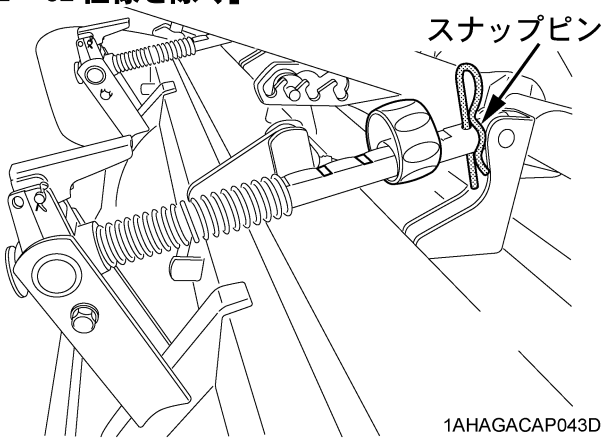
■ロータリカバー接地圧の調節

◆ スナップピンの位置

スナップピンは通常一番前のロッド穴にセットしてください。E・SE 仕様は接地圧条件に合わせてロッド穴をお選びください。(前から１番目，２番目，３番目…と取付け位置を後方に下げるにつれ押付力は強くなります。)

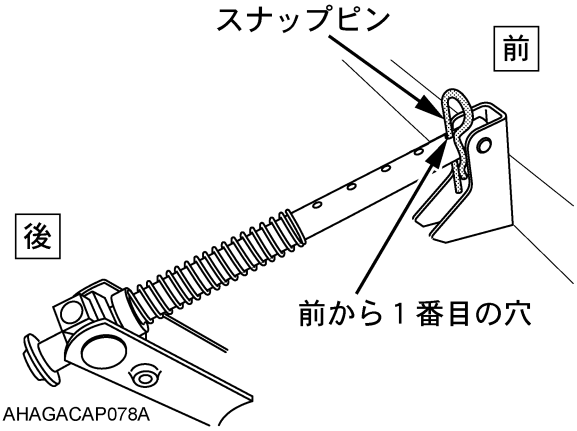
● 押付力を強くしますと，均平，整地に効果があります。

[E・SE 仕様を除く]



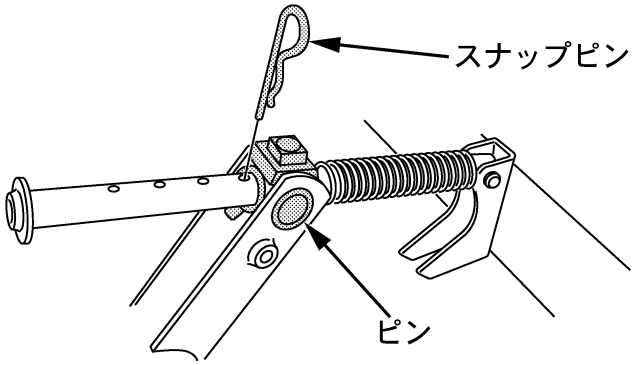
1AHAGACAP043D

[E・SE 仕様]



1AHAGACAP078A

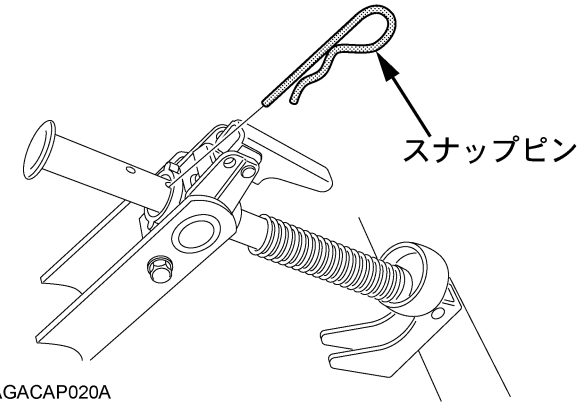
特殊な作業や E・SE 仕様での爪交換等のときはロータリカバー２を持上げて，スナップピンをピンより後方のロッド穴にセットしてください。



1AHAGACAP018A

重　要

＊ 耕深制御（メカオート）使用時は：
［解除］位置にし，ロータリカバー２をフリーにしてください。
＊ ロータリカバー２を上げて作業を行なう場合はオートハンガを使用せずにスナップピンを使用してカバーを保持してください。



1AHAGACAP020A

補　足

＊ ロータリを長期に使用しないとき，あるいは操作が重くなったときはよく洗浄し，土を完全に取除いた後，レバー部とピン部に十分注油してください。

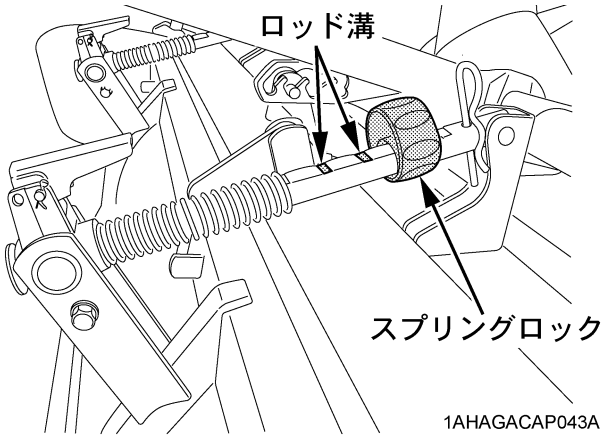
スプリングロックの調整［E・SE 仕様を除く］

注　意

＊ スプリングロックの操作は必ずロータリを地上に降ろし，エンジンを停止してから行なってください。
ロータリが急降下し傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ スプリングロックを操作するときは，必ずスプリングロックの握り部だけを持って操作してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ スプリングロックを操作するときは，ロータリカバー 2 を最下げにしてください。スプリングが押付けられた状態のときは，しっかりとグリップを握って操作してください。途中で手をはなすと，グリップが上方へいきおいよく飛び出し危険です。

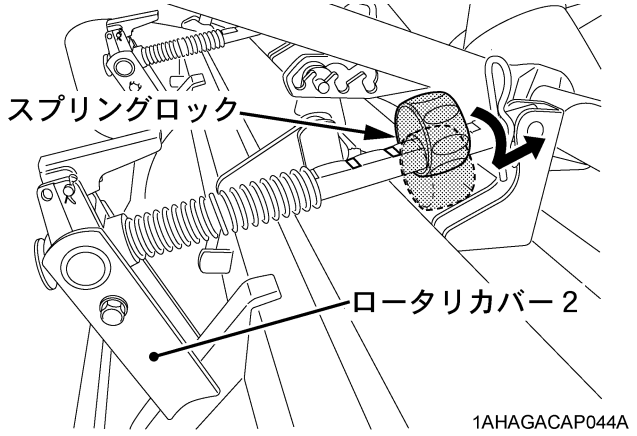
◆ スプリングロックの位置

接地圧条件に合わせてロッド溝をお選びください。（前から１番目，２番目……とセット位置を後方に下げるにつれ，押付力は強くなります。）通常は前から１番目の溝にセットしてください。



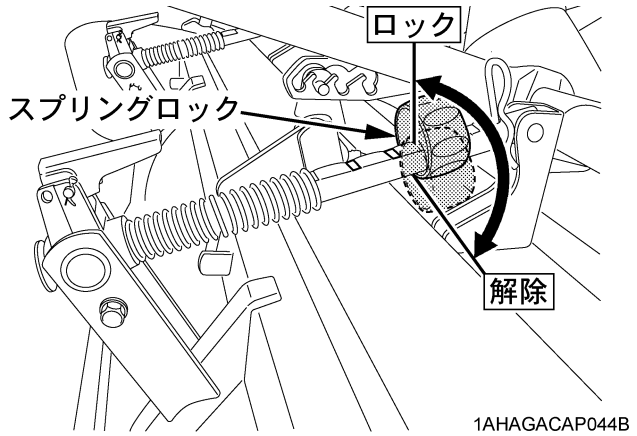
1AHAGACAP043A

特殊な作業，爪の交換等ロータリカバー２を持上げて使用する場合は，ロッド先端のスナップピンを溝から外しロッド受け部まで移動させてください。



◆ スプリングロックの位置決め

1. スプリングロックを約 90 度回し，ロックを解除させます。
   ［サイドドライブ仕様］はスプリングロックを回さずにまっすぐ下に移動できます。



2. その状態でスプリングロックを希望位置まで移動させます。
3. スプリングロックを元の位置まで回し，少し上下に摺動させて確実にロックします。（カチッと音が鳴り，上下に動かない位置がロック位置です。）

重　要

＊ ロータリカバー 2 を持上げるときは，スプリングが密着した状態以上に持上げないでください。
＊ オート作業時はスプリングロックを前から 1 番目の溝にセットしてください。
セット位置を後方に下げるとオートが作動しにくくなります。

補　足

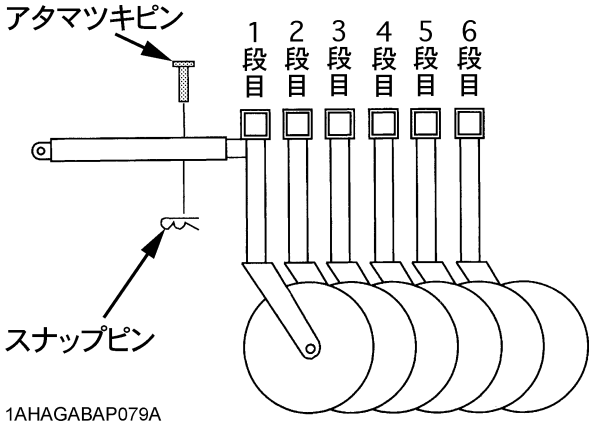
＊ ロータリを長期に使用しないとき，あるいは操作が重くなったときはよく洗浄し，土を完全に取除いた後，しゅう動部に注油してください。

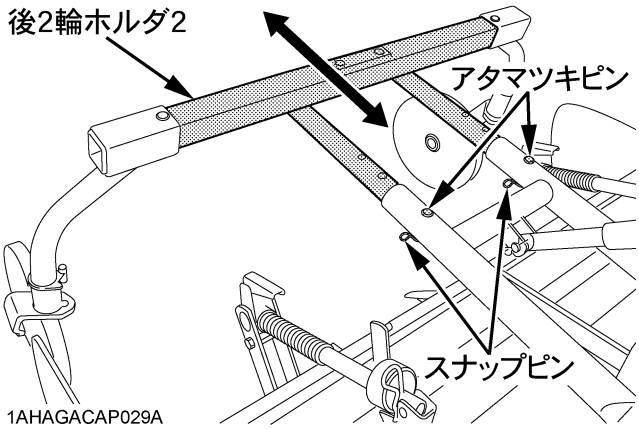
後２輪の調整［B 仕様］

後２輪は作業に合わせて前後方向に６段階，上下方向に２段階の調整ができます。

作業内容		後２輪の調整	
		前後調整	上下調整
培土作業		２段目	上
一般耕うん	補助カバー付	５・６段目	上
	補助カバー無	１段目	上
浅起こし（補助カバー付）		５・６段目	上
代かき（補助カバー付）		５・６段目	下
ロータリを着脱する場合		６段目	上

■後２輪ホルダ２の前後調整





補　足

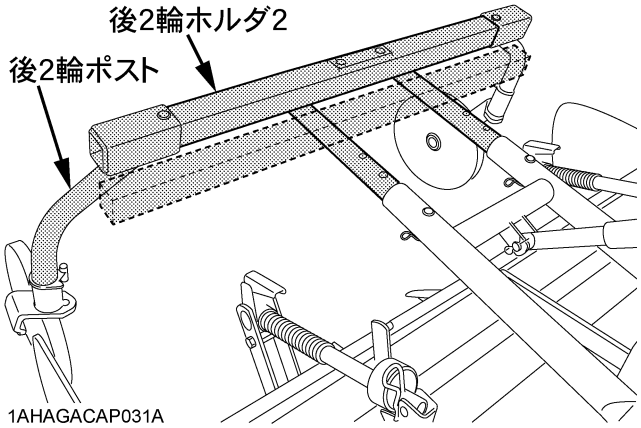
＊ 水田（湿田）で，トラクタの性能を十分発揮させるため，後２輪はロータリカバー２を上下させて接触しない範囲で，接近させて使用してください。

■後２輪ホルダ２の上下調整

注　意

＊ 後２輪を使用しない場合は取外してください。後２輪を上方に反転させての耕うん･移動は障害事故を引起こすおそれがあります。
＊ 後２輪ホルダ２を差換える場合は先ず後２輪ポストを後２輪ホルダ２から外して行なってください。障害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪装置は，乾田・湿田別によって，後２輪ホルダ２の差換えをすることで取付け高さを変えることができます。
後２輪ポストを後２輪ホルダ２より外してください。
後２輪ホルダ２を湿田，代掻き耕うんの場合は下側に取付け，乾田耕うん・畝立て作業の場合は上側に取付けてください。
差替え後，後２輪ポストを取付けてください。

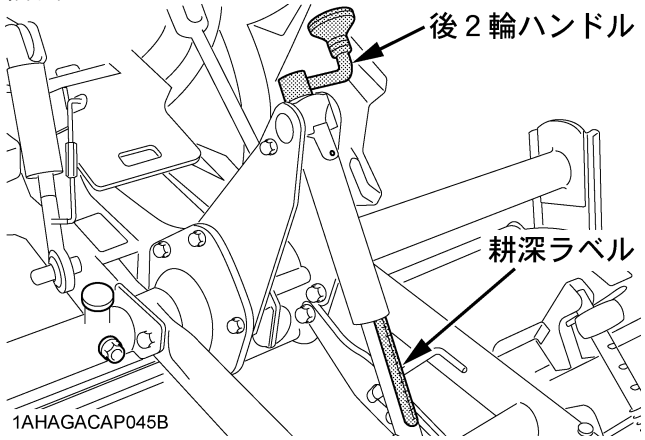


■後２輪ハンドルによる耕深調整（トラクタ A 仕様（耕深制御時）除く）

注　意

＊ トラクタを移動させながらの耕深調整は，しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪ハンドルを回すことにより，耕深を自由に選ぶことができます。耕深ラベルの目盛りを目安としてご使用ください。また，後２輪ハンドルは前側で止めてください。



畝立機の取付け (別売りオプション)

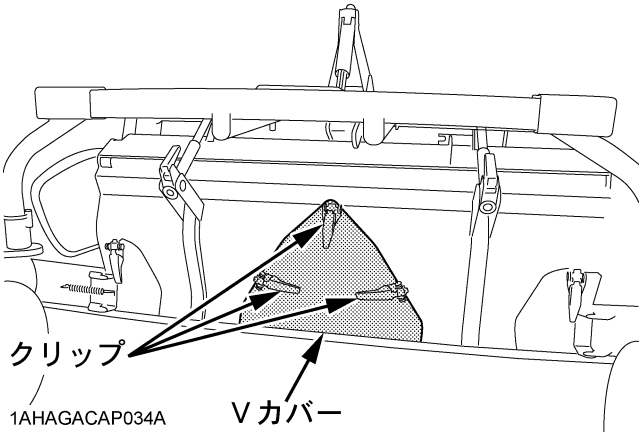
注　意

＊ 畝立機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，エンジンを停止してから行なってください。
＊ 畝立機を使用しない場合は取外してください。
畝立機を上方に反転させての耕うん・移動は傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ 畝立機を使用しない場合，V カバーまたはカバーフタを外したままでロータリを使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

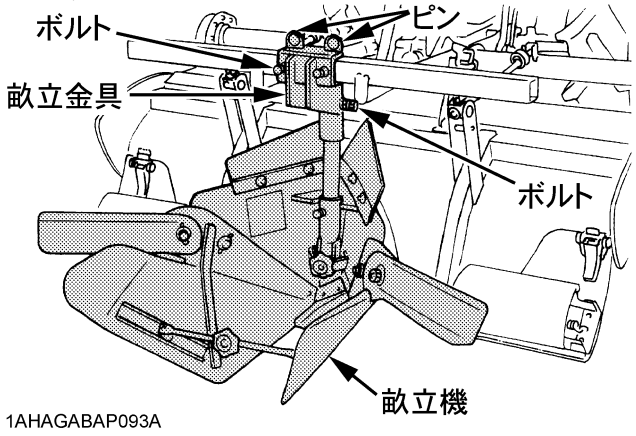
畝立機は，畝立て金具の穴に下から差込み，作業に応じた取付け高さで，ボルトで締付けてください。

■ V カバー仕様の場合

1. 爪の配列を２つ盛り耕法の配列にしてください。(**“２つ盛り耕法の配列”**の項を参照)
2. 後２輪を取外してください。
3. 後２輪ホルダ２を，前後調整の２段目の位置(**“後２輪ホルダ２の前後調整”**の項を参照)にし，上下調整の上側(**“後２輪ホルダ２の上下調整”**の項を参照)にセットしてください。
4. クリップを解除し，V カバーを下方向に動かして取外してください。



5. 畝立機に畝立金具をボルトで締付けてください。
6. 畝立金具を後２輪ホルダ２にピンでセットし，金具背面のボルトを締付けてください。



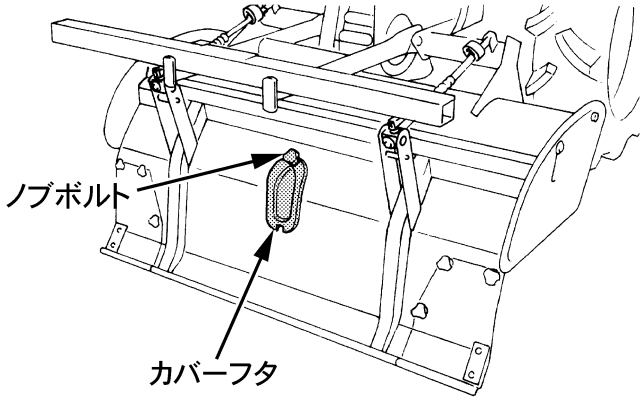
7. ロータリカバー２押えバネをフリーにするか又は少し縮めて，ロータリカバー２を軽く地面に接触させてください。

補　足

＊ 作業状態により畝立機の角度や高さを調整してください。

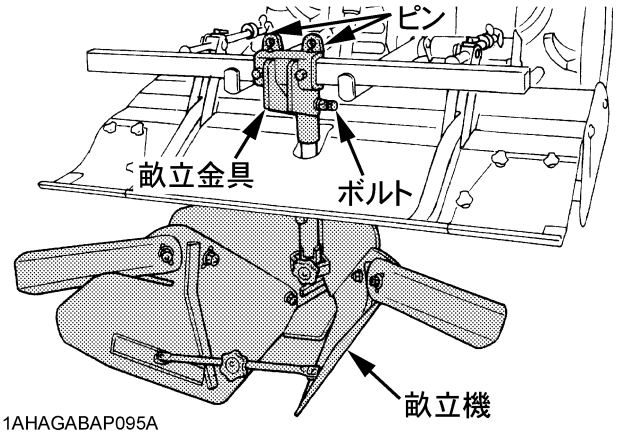
■標準仕様の場合

1. 爪の配列を２つ盛り耕法の配列にしてください。(**“２つ盛り耕法の配列”**の項を参照)
2. 後２輪を取外してください。
3. 後２輪ホルダ２を，前後調整の２段目の位置(**“後２輪ホルダ２の前後調整”**の項を参照)にし，上下調整の上側(**“後２輪ホルダ２の上下調整”**の項を参照)にセットしてください。
4. ノブボルトをゆるめ，カバーフタを取外します。
   取外したカバーフタとノブボルトは，紛失しないように保管してください。



5. 畝立金具を後２輪ホルダ２にピンでセットしてください。
6. ロータリカバー２をロッドのスナップピンで上げ位置に固定してください。

7. 畝立機をロータリカバー２の下側から差し込み畝立金具に取付け，ボルトで締付けてください。



1AHAGABAP095A

8. 上げ位置で固定したロータリカバー２をロッドのスナップピンを抜き解除し，畝立機の上に乗せてください。

■培土・片培土反転金具の取扱いについて

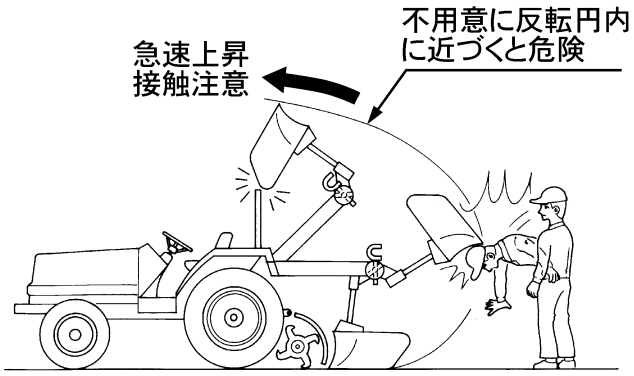
※ 培土・片培土の調節や反転作業を行なう場合は，必ずエンジンを停止してから行なってください。

※ 培土・片培土を反転させた場合は，すき先が後方に突出して危険ですので注意してください。

※ 反転後は，トラクタに乗車してエンジンを始動し，ロータリをゆっくり持ち上げてください。培土・片培土がトラクタ本体やキャノピー・ロプス等に接触しないことを確認し，接触する場合は上限規制を行なってください。(MA 仕様の場合はモンローを作動して確認してください)
上限規制はトラクタの油圧レバー上方のボルトをゆるめて調整し，培土が接触しない位置で締付けてください。上限規制を解除する場合はボルトをゆるめて最上方部で締込んでください。決してボルトは取外さないでください。

※ 培土と片培土を供着し，ならし板が接触する場合は，ならし板を取外してください。

※ 培土の反転金具には２箇所の反転位置が設けてあります。作業条件に合わせて使い分けてください。



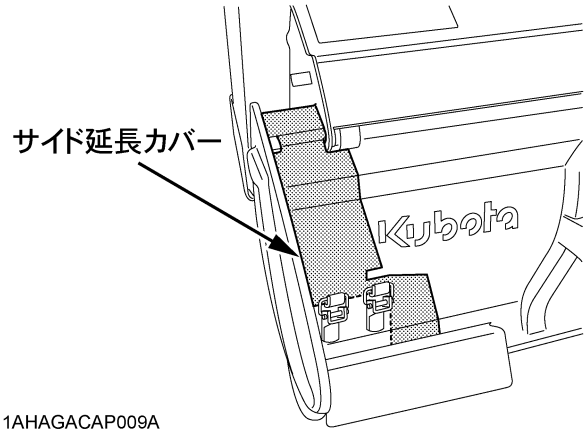
1AHAGABAP096A

サイド延長カバーの取扱い［サイドドライブ仕様］(別売りアタッチメント)

注　意

＊ サイド延長カバーの取付け･調整作業は，エンジンを止め，駐車ブレーキを掛け，落下調整グリップを右いっぱいに回し，ロータリの落下防止をしてから行なってください。

サイド延長カバーは，畝立て作業や深おこし作業時にできるチェーンケースの跡を少なくすることができます。
折りたたみ延長カバーを併用されますと，さらにきれいに仕上がります。
取付け，取り扱い方法の詳細は，サイド延長カバーに添付された取扱説明書をご参照ください。



1AHAGACAP009A

品　名	品　番
サイドエンチョウカバー，アッシ	96261-1310-0

補　足

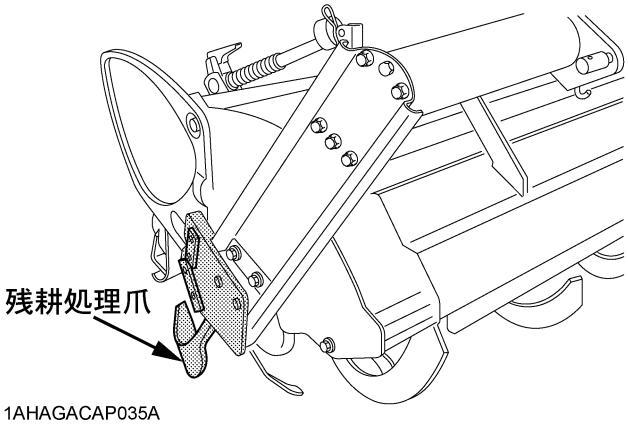
＊ サイド延長カバーを使用し隣接耕うんされる場合は，サイドカバーと左側変形爪の間は耕うんされていないため，チェーンケース側の残耕にご注意ください。

残耕処理爪の取扱い［サイドドライブ仕様］(別売りアタッチメント)

注　意

＊ 残耕処理爪の取付け・調整作業は，エンジンを止め，駐車ブレーキを掛け，落下調整グリップを右いっぱいに回し，ロータリの落下防止をしてから行なってください。

残耕処理爪は，あぜ際，特にコンクリート畦畔ぎわの残耕を，耕うんと同時に処理できます。
取付け，取り扱い方法の詳細は，残耕処理爪に添付された取扱説明書をご参照ください。



1AHAGACAP035A

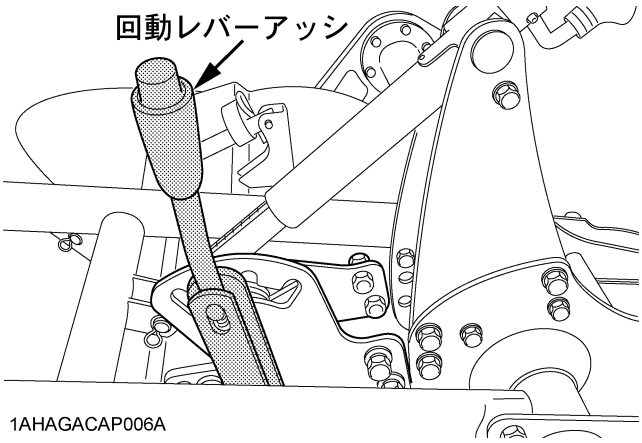
品　名	品　番
ザンコウショリツメ，アッシ（KB）	96261-1210-0

回動レバーアッシの取扱い［サイドドライブ仕様］（別売りアタッチメント）

注　意

＊ 回動レバーアッシの取付け･調整作業は，エンジンを止め，駐車ブレーキを掛け，落下調整グリップを右いっぱいに回し，ロータリの落下防止をしてから行なってください。

回動レバーアッシは，トラクタに乗ったまま，ニューフラップカバーの回動角度の調整ができます。取付け，取扱い方法の詳細は，回動レバーアッシに添付された取扱説明書をご参照ください。



品　名	品　番
カイドウレバー，アッシ	96261-1410-0

逆転 PTO の使用方法

1. 使用できる作業機
＊メーカ指定のロータリに限ります。
2. トラクタの逆転 PTO を使用して次の作業が行なえます。
   (1) 軟弱地での土寄せ作業。
   代かき作業などを行なう軟弱なほ場で泥などが盛上がった場合，逆転 PTO を使用して前進しながら土寄せを行なうと効果があります。このとき，エンジン回転数を低速（1500rpm 以下）で作業すると泥飛びも少なくなります。
   (2) 爪軸に巻付いた草を除去する。
   耕うん中に草などが巻付いて，耕深がとれなくなった場合，ロータリを持上げて，逆転の空転・正転での空転を数回繰り返すと，草の巻付きがゆるみ取りやすくなります。

重　要

＊ メーカ指定以外のロータリを使用すると，作業機の故障の原因となります。
＊ 逆転 PTO を使用して，次の作業は行なわないでください。ロータリ破損の原因になります。
   (1) 逆転耕うん作業
   (2) 未耕地や石の多いほ場での土寄せ作業
   (3) ロータリの爪を逆に取付けて行なう耕うん作業

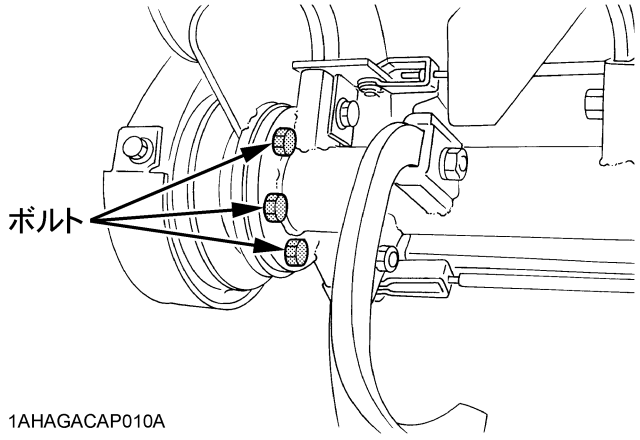
爪軸交換のしかた

注　意

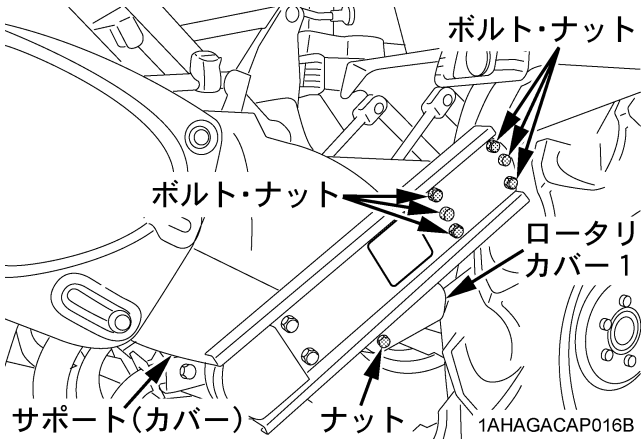
傷害事故の防止のため，爪軸交換をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置いてください。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてください。
＊ ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを右いっぱいに回し，油圧をロックしてください。

[サイドドライブ仕様]

1. チェーンケース側爪軸取り付けボルト（４本）を外れない程度に緩めてください。
2. 落下速度調整グリップの油圧ロックを解除し，油圧レバーを下げ，耕うん爪が水平地面上に着くまでゆっくりと降ろします。
3. サイドフレーム側のサイドカバーを固定している，ボルトとナットを外し，サイドカバーを取り外してください。
4. ロータリカバー１，２が落下しないように木の台などで支えてください。
5. サイドフレーム側のロータリカバー１を固定しているナットを取り外し，サポートカバーを下に反転しサポートカバーとロータリカバー１を分離してください。
6. チェーンケース側爪軸取り付けボルト（４本），およびサイドフレーム上側の取り付けボルト（６本）を取り外し，爪軸を外してください。



1AHAGACAP010A



1AHAGACAP016B

重　要

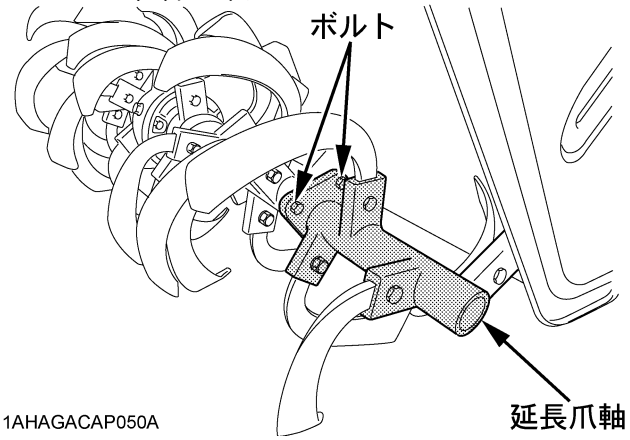
＊ 取付けは，外したボルト・ナットが作業中に緩まないように，確実に締め付けてください。

[締付けトルク]

- 爪軸取り付けボルト
  78.4 ～ 88.2 N･m（8.0 ～ 9.0 kgf･m）
- サイドフレーム取り付けボルト
  48.0 ～ 55.9 N･m（4.90 ～ 5.70 kgf･m）
- ロータリカバー１取り付けナット
  23.5 ～ 27.5 N･m（2.40 ～ 2.80 kgf･m）
- サイドカバー取り付けボルト・ナット
  48.0 ～ 55.9 N･m（4.90 ～ 5.70 kgf･m）

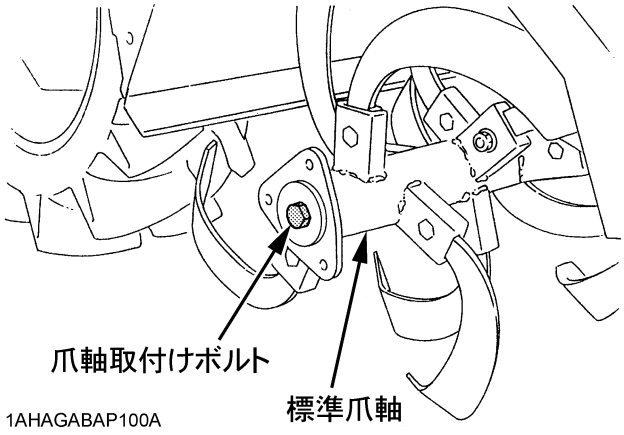
[センタドライブ仕様]

1. ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを回して，油圧をロックしてください。
2. 延長爪軸（左・右）を取外してください。（ボルト左右各３本）

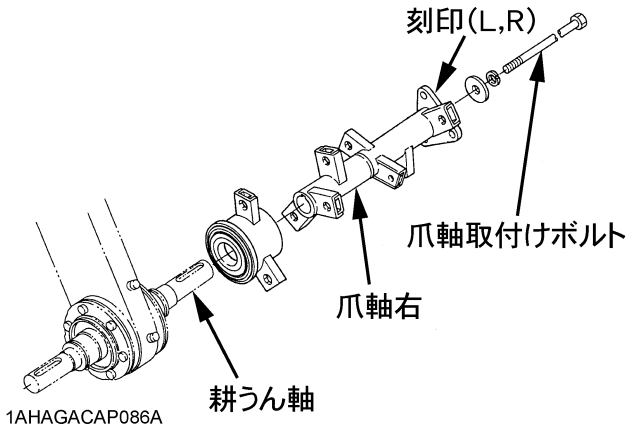


1AHAGACAP050A

3. 爪軸取付けボルト（左右各１本）を外して，標準爪軸を引抜き，交換爪軸に取換えてください。



1AHAGABAP100A



1AHAGACAP086A

補　足

＊ 爪軸の左・右はフランジに溶接しているブラケットにＬ・Ｒの刻印があります。

重　要

＊ 取付けは，外したボルト・ナット，ゆるめたボルトが作業中にゆるまないように，確実に締付けてください。

[締付トルク]

- 爪軸ボルト。
  107.8 ～ 125.4 N・m (11.0 ～ 12.8 kgf・m)
- 延長爪軸ボルト。
  60.8 ～ 70.6 N・m (6.20 ～ 7.20 kgf・m)

作業前の点検について（日常点検）

警　告

＊ 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また，紛失したり損傷した場合，交換してください。
巻込まれや切傷事故の原因になります。

点検箇所

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
日常点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，別途作業要領が説明してあります。

■点検は次の順序で実施してください。

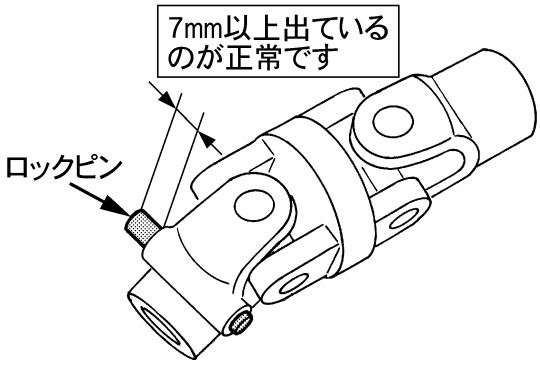
(1)　前日，前使用時の異常箇所。

(2)　ロータリの点検ポイント。
＊爪及び爪軸取付けボルトのゆるみ
＊ロータリ各部のボルト・ナットのゆるみ
＊ユニバーサルジョイントのロックピンのロック状態の確認…… ※1
＊油もれ

点検のしかた

1.　ユニバーサルジョイントのロックピンの確認

ロックピンが正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が7 mm 以上出ているかどうかを調べてください。



1AHAGABAP031A

ロータリの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警　告

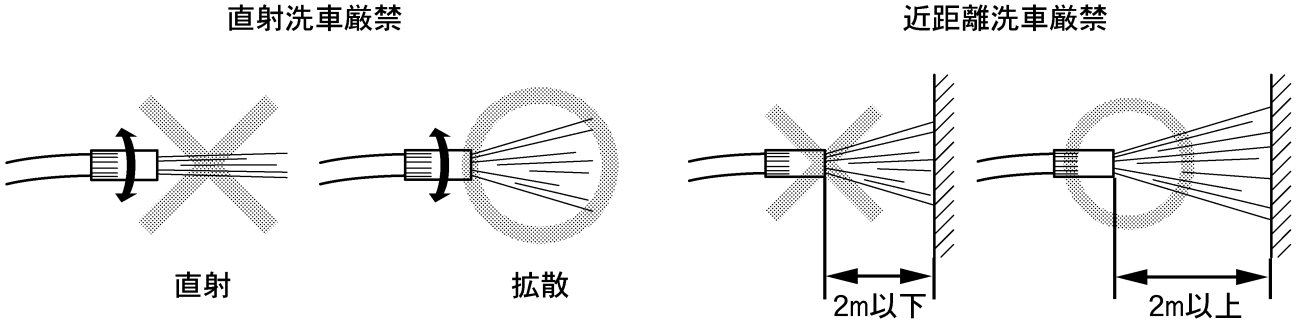
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。
2. 油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
3. 機械の破損・損傷・故障の原因になります。
例）(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ



1AGACBRAP070A

定期点検箇所一覧表

次の定期点検表に従って，必ず定期点検を実施してください。

注 意

傷害事故の防止のため，点検整備をする場合，次の事を守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置いてください。
＊ エンジンを止め，駐車グリップを掛けてください。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを右いっぱいに回してください。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保してください。

No.	点検項目		アワーメータの表示時間						参照ページ
			50	100	150	200	250	300	
1	ギヤーケース **[サイドドライブ仕様]**	油量点検		○	○	○	○		38
		オイル交換	◎					○	
2	チェーンケース **[サイドドライブ仕様]**	油量点検		○	○	○	○		39
		オイル交換	◎		○			○	
3	ロータリケース **[センタドライブ仕様]**	油量点検		○	○	○	○		39
		オイル交換	◎		○			○	
4	グリースの塗布 ● ユニバーサルジョイントのしゅう動部 ● ２点リンク連結部 ● 後２輪のグリースニップル部 ● サポート(ベアリング)内スプライン部 **[S 仕様]**（※） ● ロータリ入力軸 **[S 仕様]**（※）		○	○	○	○	○	○	40
5	グリースの注入 ● サイドフレーム下側ベアリングケース **[サイドドライブ仕様]**				○			○	41
6	注油 ● 内管（後２輪調整ネジ部） ● オートハンガしゅう動，回動部 **[E・SE 仕様を除く]** ● つきま線 U 金具内部 **[E・SE・センタドライブ仕様を除く]**		○	○	○	○	○	○	41

◎印はならし運転時の 50 時間使用後に必ず行ってください。
（※）S 仕様については，50 時間毎または年 1 回のうち早いほうで，グリースを塗布してください。
また湿田耕うんや代かき作業後は，必ずロータリを切離しグリースを塗布してください。

各部の油量点検と交換

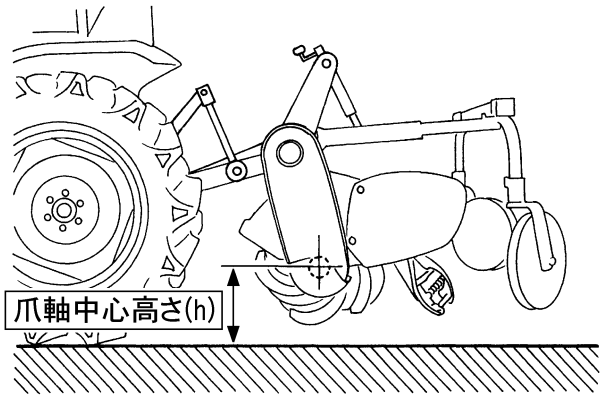
使用するギヤーオイルは，必ず**“クボタ純オイル”**を使用してください。(**“推奨オイル・グリース一覧表”**の項を参照)

補　足

＊ ロータリのオイル量を点検するときは，トラクタの型式によってロータリの爪軸中心高さを調整して行なってください。
爪軸中心高が正しくないと正確な量を示さないことがあります。

オイル点検時の爪軸中心高さ h(cm)			
トラクタ	サイドドライブ		センタドライブ
	ギヤケース	チェーンケース	ロータリケース
JB11	24.5	23.0	23.0
JB13	22.5	22.5	22.5
JB14	23.0	22.5	23.0
JB16 JB18	23.5	24.5	24.5

(但しバラツキによる誤差はあります)

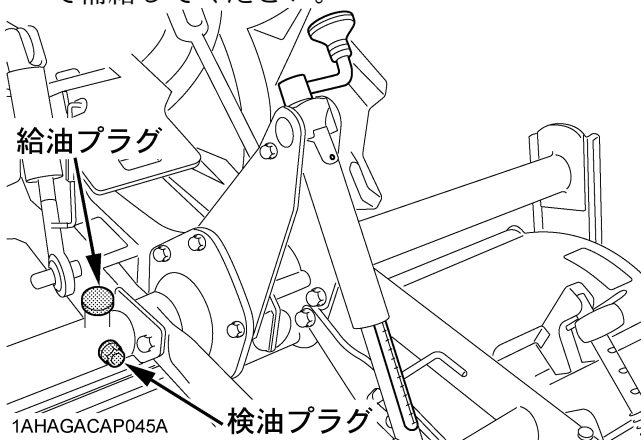


1AHAGABAP102A

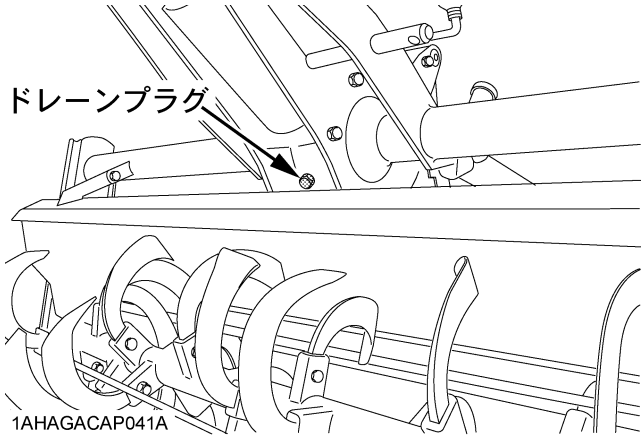
■ギヤーケースオイル【サイドドライブ仕様】

◆ 油量点検のしかた

1. ロータリの爪軸中心高さを調整してください。(**“各部の油量点検と交換”**の項を参照)
2. 検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
3. 検油口以下の場合はギヤーオイルを検油口まで補給してください。



1AHAGACAP045A



1AHAGACAP041A

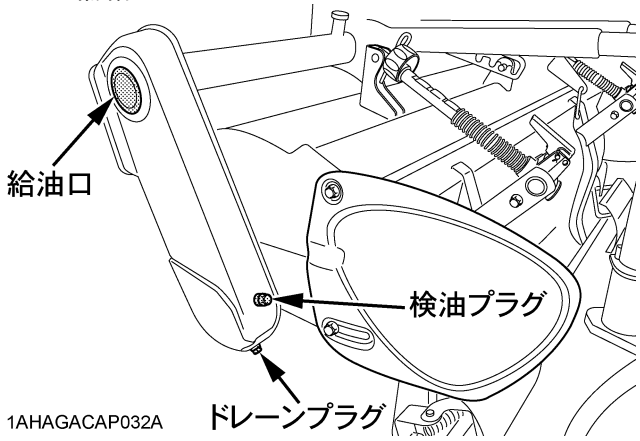
◆ 交換のしかた (1.2L)

1. ドレーンプラグを外してオイルを排出してください。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。

■チェーンケースオイル【サイドドライブ仕様】

◆ 油量点検のしかた

1. ロータリの爪軸中心高さを調整してください。(**“各部の油量点検と交換”**の項を参照)
2. 検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
3. 検油口以下の場合はギヤーオイルを検油口まで補給してください。



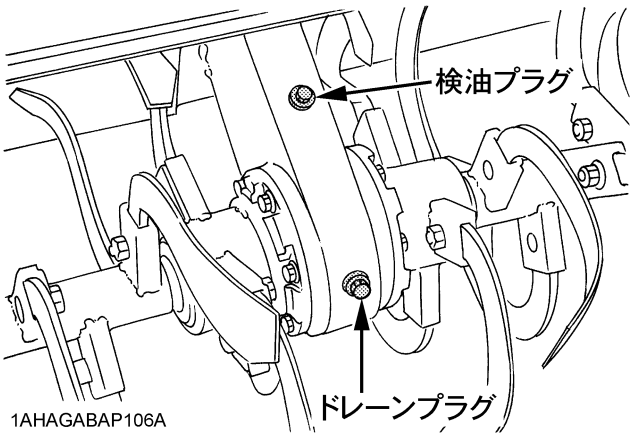
◆ 交換のしかた（0.6Ｌ）

1. ドレーンプラグを外してオイルを排出してください。
   検油プラグをゆるめておくと排出しやすくなります。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。

■ロータリケースオイル【センタドライブ仕様】

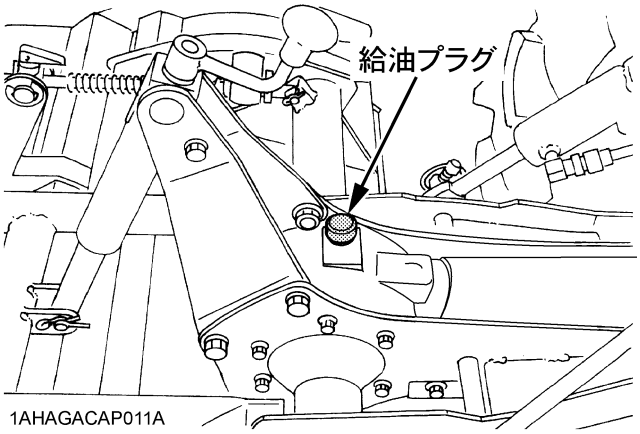
◆ 油量点検のしかた

1. ロータリの爪軸中心高さを調整してください。(**“各部の油量点検と交換”**の項を参照)
2. 検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
3. 検油口以下の場合はギヤーオイルを検油口まで補給してください。



◆ 交換のしかた（1.2Ｌ）

1. ドレーンプラグを外してオイルを排出してください。
   検油プラグをゆるめておくと排出しやすくなります。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。



グリース・オイルの補給と注油

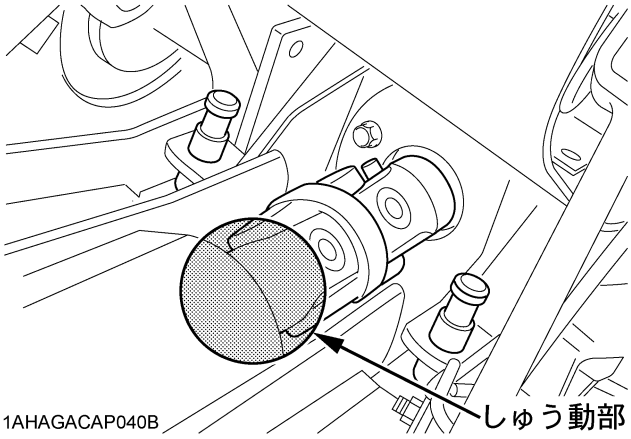
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。但し，代かき作業などで泥水に入ったときは，作業終了後必ずグリースアップをしておきましょう。
グリースは，**“クボタ推奨グリース”**を使用してください。(**“推奨オイル・グリース一覧表”**の項を参照)

■ユニバーサルジョイント

しゅう動部は，ジョイントを取外して，グリースを適量塗布してください。

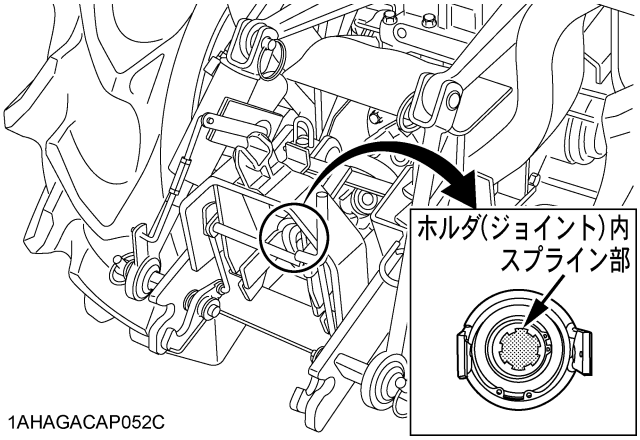
補　足

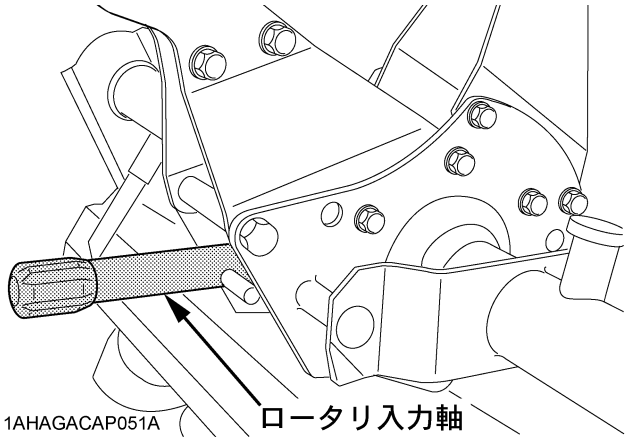
＊ PTO 軸・ロータリ側の軸にも，薄く塗布してください。



■サポート（ベアリング）内スプライン部【S 仕様】，ロータリ入力軸【S 仕様】

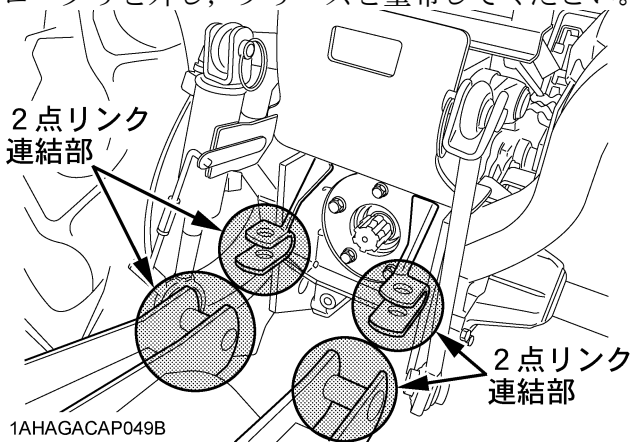
1. 湿田耕うんや代かき作業後は，必ずロータリを切離し，サポート（ベアリング）内スプライン部とロータリ入力軸の，泥をきれいに水で洗い流し，下図箇所にグリースを適量塗布してください。
2. 定期的にロータリを切離し，ホルダ（ジョイント）内スプライン部とロータリ入力軸にグリースを適量塗布してください。





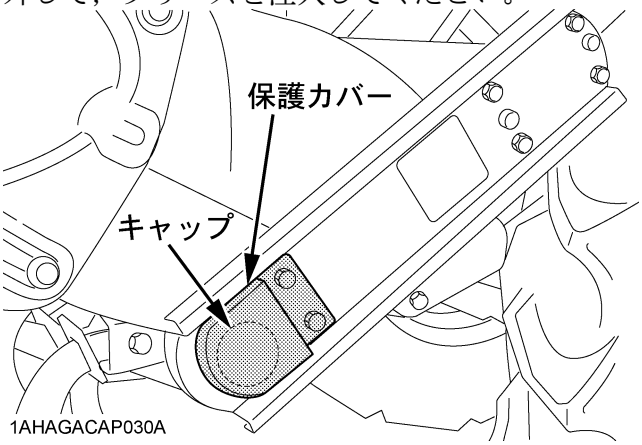
■２点リンク連結部

ロータリを外し，グリースを塗布してください。



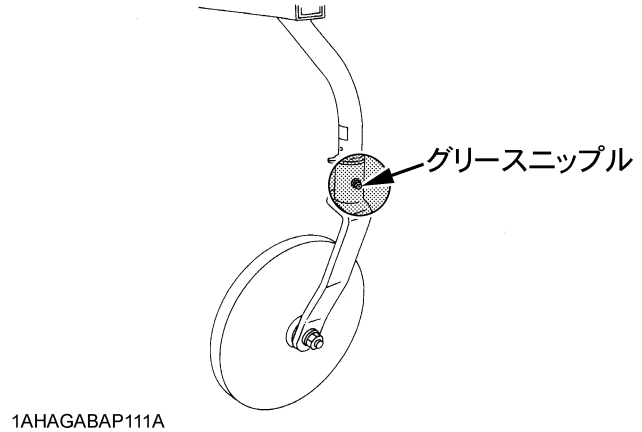
■サイドフレーム下側ベアリングケース【サイドドライブ仕様】

サイドフレーム下部の保護カバーとキャップを外して，グリースを注入してください。



1AHAGACAP030A

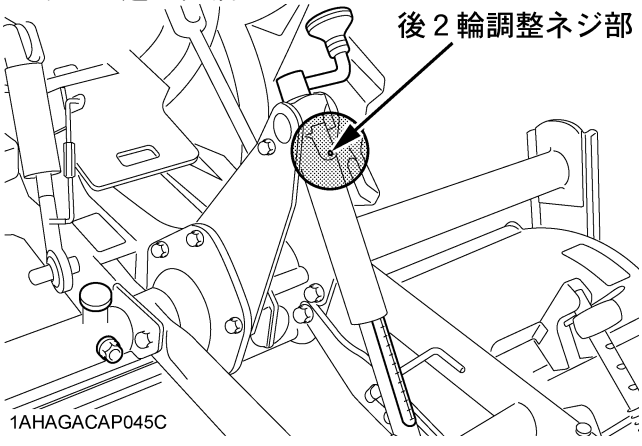
■後２輪のグリースニップル部【B 仕様】



1AHAGABAP111A

■内管（後２輪調整ネジ部）

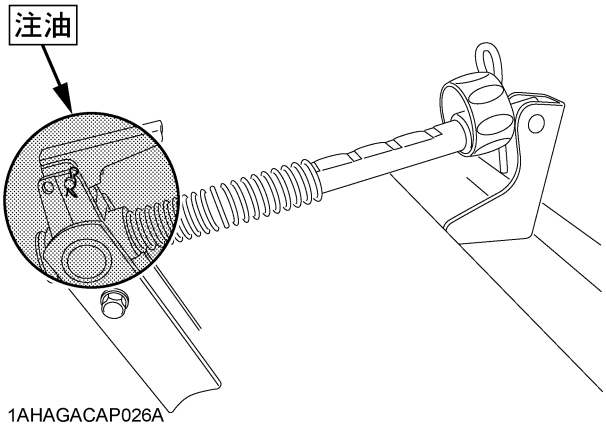
オイルを適量注油してください。



1AHAGACAP045C

■オートハンガしゅう動，回動部【E・SE 仕様を除く】

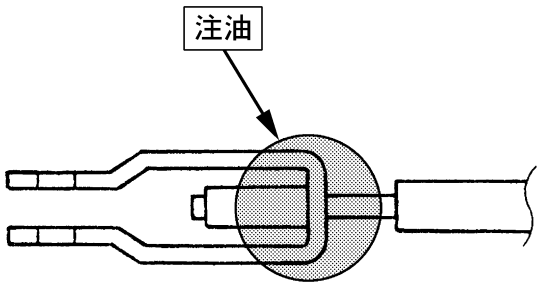
オイルを適量注油してください。



1AHAGACAP026A

■つきま線 U 金具内部【E・SE・センタドライブ仕様を除く】

オイルを適量注油してください。



1AHAGABAP114A

シールの組換え

整備などの目的でギヤーケース，チェーンケース等を分解される場合は，必ず新しいオイルシール，ゴムキャップ，ゴム付座金，液状ガスケット，コーティングボルト等と交換してください。オイルもれの原因となります。
液状ガスケットはスリーボンド 1206C 又は 1206D 又はその相当品を使用し，必ず塗布面を脱脂してください。

付　表

主要諸元

[サイドドライブ]

型式名		RS10JSE	RS11J	RS11J-E	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J
機体寸法	全長（mm）（B 仕様）	845（1155）	965(1275)					
	全幅（mm）	1180	1280	1280	1380	1480	1580	1680
	全高（mm）	662	940	662	940			
質量（kg）（B 仕様）※１		105（133）	133（146）	121（145）	137（150）	141（154）	145（158）	149（162）
適応トラクタ kW（PS）		JB11 7.7(10.5)	JB11，JB13，JB14，JB16，JB18 7.7，9.6，10.7，12.1，13.6(10.5，13，14.5，16.5，18.5)					
標準耕幅（mm）		1010	1110	1110	1210	1310	1410	1510
標準耕深（mm）		120						
標準作業速度（km/h）		0.55 ～ 4.0						
入力軸回転数（rpm）		523 ～ 967（逆転 512 ～ 540）						
変速の有無		－						
装着装置の種類		２点リンク						
※２ 耕うん軸回転数（rpm）	JB11	181［正転：175，308　逆転：172］						
	JB13 JB14 JB16 JB18	181［正転：185，324　逆転：181］						
耕うん爪	取付方法	ホルダタイプ						
	種類と本数	331 号 R，L 各 11 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 12 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 12 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 13 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 14 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 15 本 332 号 R，L 各１本	331 号 R，L 各 16 本 332 号 R，L 各１本
	回転直径（mm）	450						
耕深調節機構		後方双尾輪，メカオート						
耕うん作業能率（分 /10a）6000/w・V・E		20 ～ 144	18 ～ 131	18 ～ 131	17 ～ 120	15 ～ 111	14 ～ 103	13 ～ 96

※１　S 仕様の質量は，B 仕様の質量に 15kg 加えた質量になります。
※２　耕うん軸回転数は入力軸 540rpm のとき
　　［　］内は各 PTO 変速での回転数
　　w：標準耕幅（cm），V：標準作業速度（km/h），E：ほ場作業効率（0.75）

付　表

[センタドライブ]

型式名			RK11J	RK11JSE	RK13J
機体寸法	全長（mm）（B 仕様）		965(1275)	915(1225)	965(1275)
	全幅（mm）		1210	1210	1410
	全高（mm）		940	662	940
質量（kg）（B 仕様）			133(146)	121(144)	142(155)
適応トラクタ kW（PS）			JB11，JB13，JB14，JB16，JB18 7.7，9.6，10.7，12.1，13.6(10.5，13，14.5，16.5，18.5)		
標準耕幅（mm）※1			1120[830]	1120[830]	1320[830]
標準耕深（mm）			120		
標準作業速度（km/h）			0.55 ～ 4.0		
入力軸回転数（rpm）			523 ～ 967（逆転 512 ～ 540）		
変速の有無			－		
装着装置の種類			２点リンク		
※２ 耕うん軸 回転数（rpm）		JB11	181［正転：175，307　逆転：171］		
		JB13 JB14 JB16 JB18	181［正転：184，324　逆転：181］		
耕うん爪	取付方法		ホルダタイプ		
	種類と本数		321 号 R，L 各 11 本 533 号 R，L 各２本 534 号 R，L 各１本	321 号 R，L 各 11 本 533 号 R，L 各２本 534 号 R，L 各１本	321 号 R，L 各 13 本 533 号 R，L 各２本 534 号 R，L 各１本
	回転直径（mm）		450		
耕深調節機構			後方双尾輪，メカオート		
耕うん作業能率（分 /10a） 6000/w・V・E			18 ～ 130	18 ～ 130	15 ～ 110

※１　［　］内は延長爪軸を外した場合の耕幅
※２　耕うん軸回転数は入力軸 540rpm のとき
　　［　］内は各 PTO 変速での回転数
　　w：標準耕幅（cm），V：標準作業速度（km/h），E：ほ場作業効率（0.75）

標準付属品

取扱説明書	1
保証書	1
マッドガード（RK13J）	1
プレート（オサエ）（RK13J）	1
スパナ（8-12）	※1

※センタドライブ，サイドドライブ E，SE 仕様を除く。

アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応ロータリ							
					RS 10JSE	RS11J (E)	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J	RK11J (SE)	RK13J
耕うん	7F710-5754-3	耕うん爪アッシ (24)	331 号なた爪 R・L 各 11 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本	—	○							
	7F711-5754-3	耕うん爪アッシ (26)	331 号なた爪 R・L 各 12 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本			○						
	7F712-5754-3	耕うん爪アッシ (28)	331 号なた爪 R・L 各 13 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本				○					
	7F713-5754-3	耕うん爪アッシ (30)	331 号なた爪 R・L 各 14 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本					○				
	7F714-5754-4	耕うん爪アッシ (32)	331 号なた爪 R・L 各 15 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本						○			
	7F715-5754-3	耕うん爪アッシ (34)	331 号なた爪 R・L 各 16 本 332 号なた爪 R・L 各 1 本							○		
	7F287-5762-0	耕うん爪アッシ	321号なた爪R・L各8本 533号なた爪R・L各2本 534号なた爪R・L各1本									
	70198-5762-0	なた爪セット	321 号なた爪 R・L 各 11 本 533 号なた爪 R・L 各 2 本 534 号なた爪 R・L 各 1 本								○	
	70199-5762-0	なた爪セット	321 号なた爪 R・L 各 13 本 533 号なた爪 R・L 各 2 本 534 号なた爪 R・L 各 1 本									○
	70461-5555-0	爪取付け部品 1	ボルト・ナット バネ座金各 1 個	—	○ 24	○ 26	○ 28	○ 30	○ 32	○ 34	○ 28	○ 32
	96195-0570-0	200 延長爪軸アッシ	左右各 10cm 延長	—							○	
	96261-1210-0	残耕処理爪アッシ (KB)	あぜ際の残耕処理	—	○	○	○	○	○	○		
	7C705-5555-0	爪取付け部品 1	ボルト（草切爪用） ナット・バネ座金 各 1 個	—	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2		
	96261-1410-0	回動レバーアッシ	トラクタに乗ったままニューフラップカバーの回動角度を調整する	—		○	○	○	○	○		
整地	96272-2610-0	折りたたみ整地部	延長整地幅左右 各 26cm	—	○	○ E					○	○

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応ロータリ							
					RS 10JSE	RS11J (E)	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J	RK11J (SE)	RK13J
うねたて	96220-7670-0	４号うねたて機（KB）	溝幅 12cm 軸径 3.4cm 羽根長さ 85.4cm	うねたて反転金具 96220-7450-0 うねたて金具 96220-0030-0 センタ V カバー仕様 96220-0040-0 GB15 前部ウエイトアッシ 96315-1550-0 14kg，１個（３個まで装着可）	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96220-7680-0	５号うねたて機（KB）	溝幅 13.5cm 軸径 3.4cm 羽根長さ 86.5cm		○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96220-7690-0	７号うねたて機（KB）	溝幅 21cm 軸径 3.4cm 羽根長さ 92cm		○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96220-7590-0	４号うねたて機 （軽量）	溝幅 12cm 軸径 3.4cm 羽根長さ 62cm		○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96220-0030-0	うねたて金具	軸径 3.4cm 用	４号・５号・７号・４号（軽量）うねたて機	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ※☆	○ ※
	96220-0040-0	うねたて金具	軸径 3.4cm 用	４号・５号・７号・４号（軽量）うねたて機							[V] ☆	[V]
	96220-7450-0	うねたて反転金具	軸径 3.4cm 用	４号（軽量）・５号・７号・うねたて機		[V] ☆	[V]	[V]			[V] ☆	[V]
	96230-7150-2	片培土機アッシ	溝幅 18cm 軸径 3.8cm 羽根長さ 74.9cm	（片培土反転金具 96230-7630-0） 前部ウエイト	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96230-7780-0	片培土機アッシ （軽量）		（片培土反転金具 96230-7630-0） 前部ウエイト	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96230-7640-2	反転片培土アッシ	反転金具付片培土	前部ウエイト	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96230-7630-2	片培土反転金具	固定式の片培土を反転式に変更する	片培土機アッシ（軽量含む）	○ ☆	○ ☆	○	○	○	○	○ ☆	○
	96196-0130-0	RS12J 後２輪アッシ	スタンド仕様に後２輪を装着する	―			○	○	○	○		○

○の下の数字は１台当りの個数を示します。
○の下の※印付は標準（畝立穴付）カバー仕様のみを示します。（V カバー仕様には使用不可。）
[ ] 内の V は V カバー仕様のみを示します。（畝立穴付カバー仕様には使用不可。）
○の下の☆印付は，RS10JSE，RK11J-E，RK11J-SE には装着不可。
　但し別途後２輪ホルダアッシを購入すれば，うねたて反転金具，反転片培土アッシ，片培土反転金具を除き装着可。
○の下の E 印付は，RS11J-E にのみ装着可。

付　表

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応ロータリ							
					RS 10JSE	RS11J (E)	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J	RK11J (SE)	RK13J
うねたて	96196-0030-0	RS10JSE 後２輪ホルダアッシ	後２輪調整ネジ 後２輪ホルダ 後２輪付	－	○							
	96196-0040-0	RS11J-E 後２輪ホルダアッシ	後２輪調整ネジ 後２輪ホルダ 後２輪付	－		○					○	
マルチ・整形機関係	96280-3504-0	平うねマルチアッシ	プラウ爪なし， うね幅 80 ～ 120cm うね高さ 0 ～ 15cm フィルム幅 90 ～ 150cm	－	○	○	○	○	○	○	○	○
	96280-5504-0	平高うねマルチアッシ	プラウ爪なし， うね幅 80 ～ 120cm うね高さ 15 ～ 30cm フィルム幅 110 ～ 150cm	マルチ用 ヒッチ 96280-2351-0 前部ウエイト	○	○	○	○	○	○	○	○
	96280-7103-0	小うねマルチアッシ	プラウ爪なし， うね幅 47 ～ 55cm うね高さ 27 ～ 33cm フィルム幅 95 ～ 110cm		○	○					○	
	98619-7571-0	PHL-12 ライトエイブル平高整形機	プラウ爪あり， うね幅 80 ～ 150cm うね高さ 13 ～ 30cm		○	○	○	○	○	○	○	○
	98619-7471-0	PHM-L-12 ライトエイブル平高マルチ	フィルム幅 95 ～ 150cm		○	○	○	○	○	○	○	○
	98619-8261-0	LMB-H-1 汎用うねたてマルチ	小うね		○	○					○	
	98619-1971-0	STP-200 ロータリ２畦整形機			○	○	○	○	○		○	○
	96198-0811-0	プラウ爪（右）		－	○	○	○	○	○	○	○	○
	96198-0812-0	プラウ爪（左）			○	○	○	○	○	○	○	○

注）マルチ・整形機関係は RS10JSE，RS11J-E，RK11J-SE のスタンド仕様には装着不可。
　　但し別途後２輪ホルダアッシを購入すれば装着可。

アタッチメントの装着により前後バランスが悪くなった場合は，下記ウエイトを装着してください。

品番	品名	備考
96315-1550-0	GB15 前部ウエイトアッシ	14kg，１個（トラクタには３個まで装着可能）

注）本ウエイトは，JB11，JB13，JB14，JB16，JB18 用です。

推奨オイル・グリース一覧表

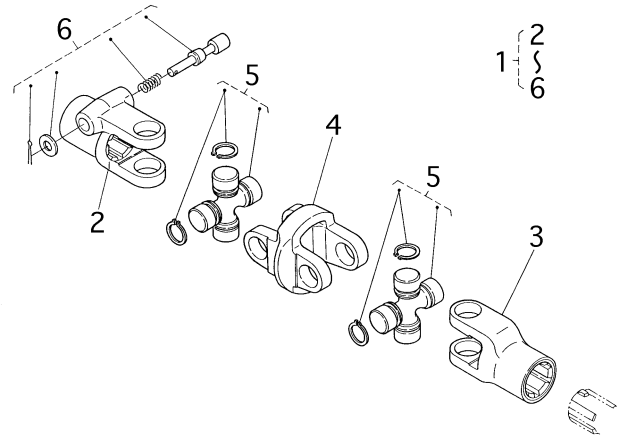
■ギヤーオイル 90 番

メーカ	ギヤーオイル
新日本石油	クボタ純オイル（ミッション用）M90
コスモ石油	クボタ純オイル（ミッション用）M90
ジャパンエナジー	クボタ純オイル（ミッション用）M90
昭和シェル石油	クボタ純オイル（ミッション用）M90
富士興産	クボタ純オイル（ミッション用）M90

■グリース

メーカ	商品名	用　途
新日本石油	エピノックグリース AP2	極圧（万能）グリース
コスモ石油	ダイナマックス EP2	
ジャパンエナジー	JOMO リゾニックス EP2	
昭和シェル石油	アルバニヤ EP グリース 2	
富士興産	フッコール EP2	
出光興産	ダフニーエポネックス SR2	
モービル	モービラックス EP2	
エッソ／ゼネラル	ビーコン EP2	
協同油脂	マルテンプ PS2	ホーン接点用グリース

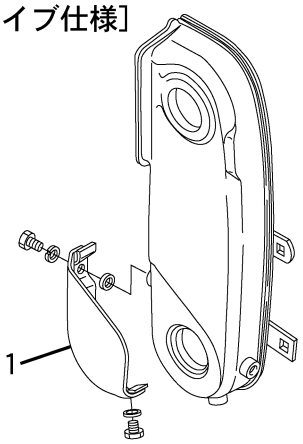
主な消耗部品一覧表



1AHAGABAP115A

図番	品名	品番	個数
1	ユニバーサル ジョイントアッシ	7F212-7101-0	1
2	ヨーク	7F312-7102-0	1
3	ヨーク（スライド）	7F212-7103-0	1
4	ヨーク（ダブル）	7F312-7104-0	1
5	スパイダアッシ	79190-3125-0	2
6	ロックピンアッシ	70678-5822-0	1

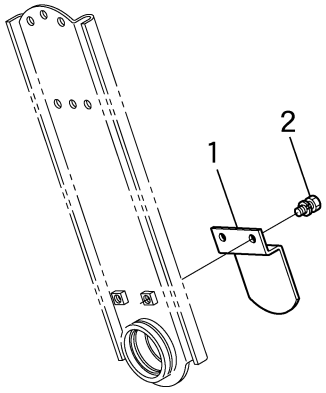
［サイドドライブ仕様］



1AHAGACAP008A

図番	品名	品番	個数
1	カバー（ホゴ）	70159-5415-0	1

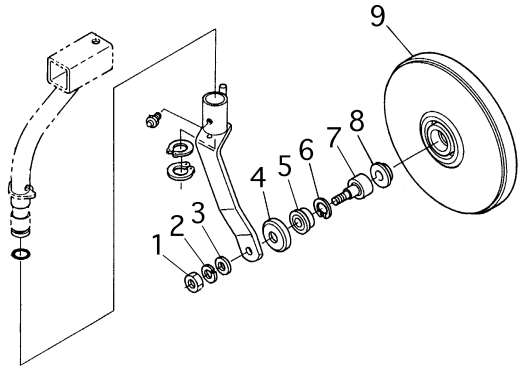
［サイドドライブ仕様］



1AHAGACAP068A

図番	品名	品番	個数
1	カバー （サイドフレーム）	7F613-5232-1	1
2	ボルト	01133-51018	2

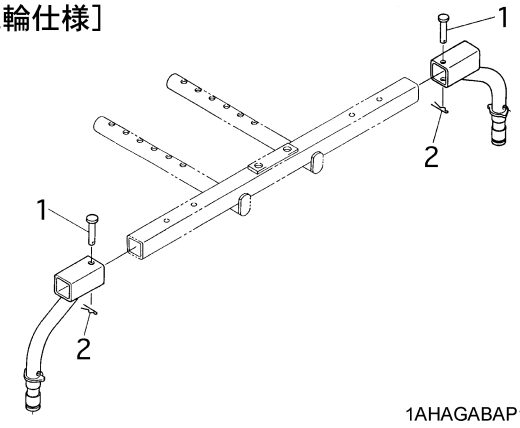
［後2輪仕様］



1AHAGABAP118A

図番	品名	品番	個数
1	ナット	02174-50160	1
2	バネザガネ	04512-50160	1
3	ヒラザガネ	04011-50160	1
4	カバー（ステー）	70159-5754-0	1
5	オイルシール (TCFY203712)	79153-3553-2	1
6	アナサークリップ	04611-00370	1
7	コウ２リンジクアッシ	79153-3552-0	1
8	シールキャップ	79163-3549-0	1
9	コウ２リン 310	79153-7551-2	1

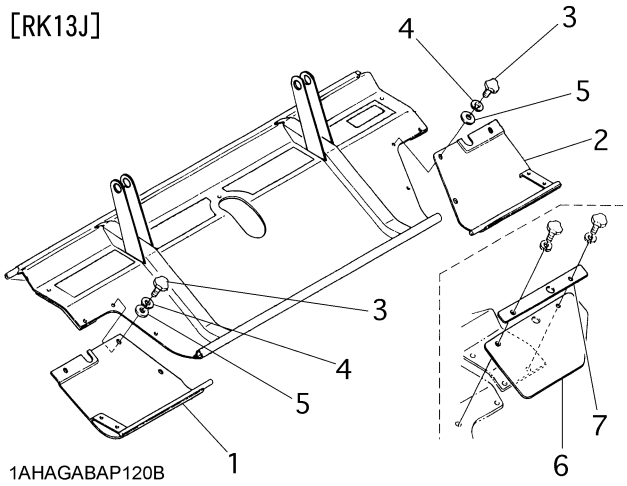
［後2輪仕様］



1AHAGABAP119A

図番	品名	品番	個数
1	アタマツキピン	05122-51270	2
2	スナップピン	05516-51200	2

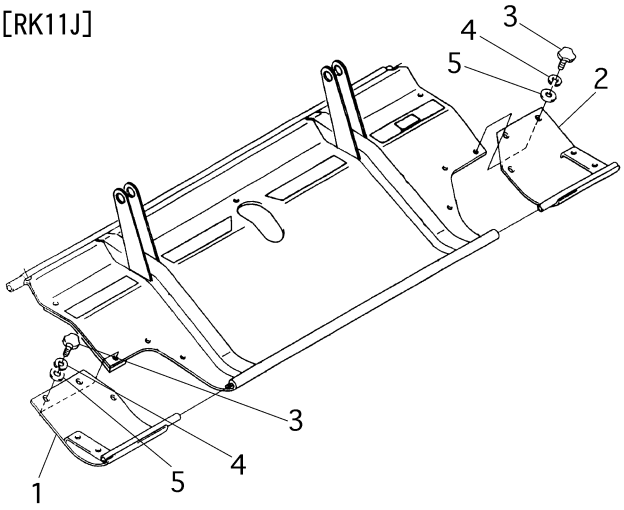
［RK13J］



1AHAGABAP120B

図番	品名	品番	個数
1	カバー（ホジョ，L）	7F383-5623-0	1
2	カバー（ホジョ，R）	7F383-5624-0	1
3	ノブボルト	01820-50815	6
4	バネザガネ	04512-50080	6
5	ヒラザガネ	04013-50080	6
6	マッドガード	7F383-5627-0	2
7	プレート（オサエ）	7F383-5628-0	2

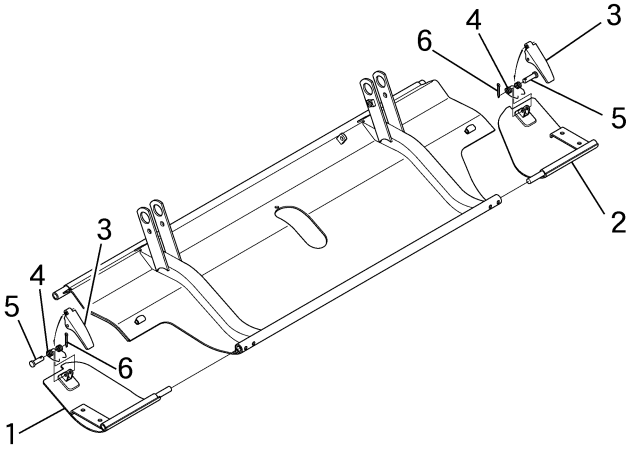
［RK11J］



1AHAGABAP121B

図番	品名	品番	個数
1	カバー（ホジョ，L）	7F312-5623-0	1
2	カバー（ホジョ，R）	7F312-5624-0	1
3	ノブボルト	01820-50815	6
4	バネザガネ	04512-50080	6
5	ヒラザガネ	04013-50080	6

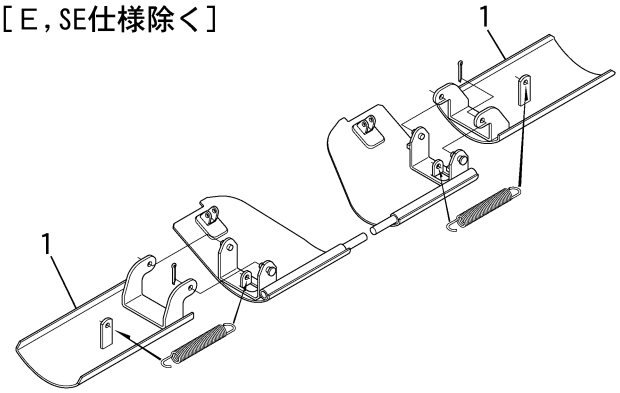
［RS10JSE,RS11J-E］



1AHAGACAP069A

図番	品名	品番	個数
1	ロータリカバー（L，ホジョ）	7F010-5627-0	1
2	ロータリカバー（R，ホジョ）	7F010-5628-0	1
3	クリップ	7A245-5667-0	2
4	ネジリスプリング	7C405-5668-2	2
5	アタマツキピン	05122-50625	2
6	ワリピン	05511-51612	2

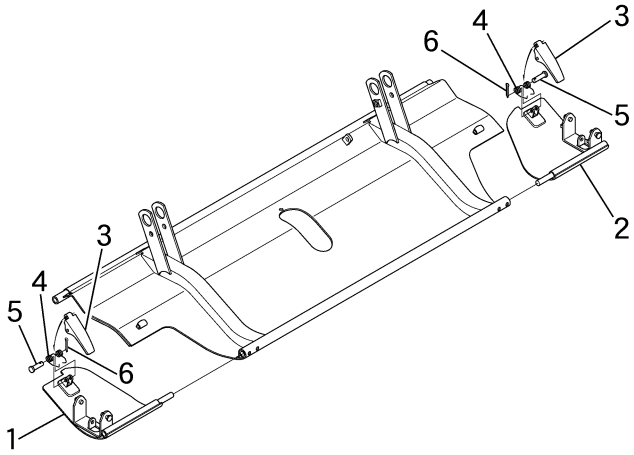
[E,SE仕様除く]



1AHAGACAP070A

図番	品名	品番	個数
1	ロータリカバー (エンチョウ)	7F012-5691-0	2

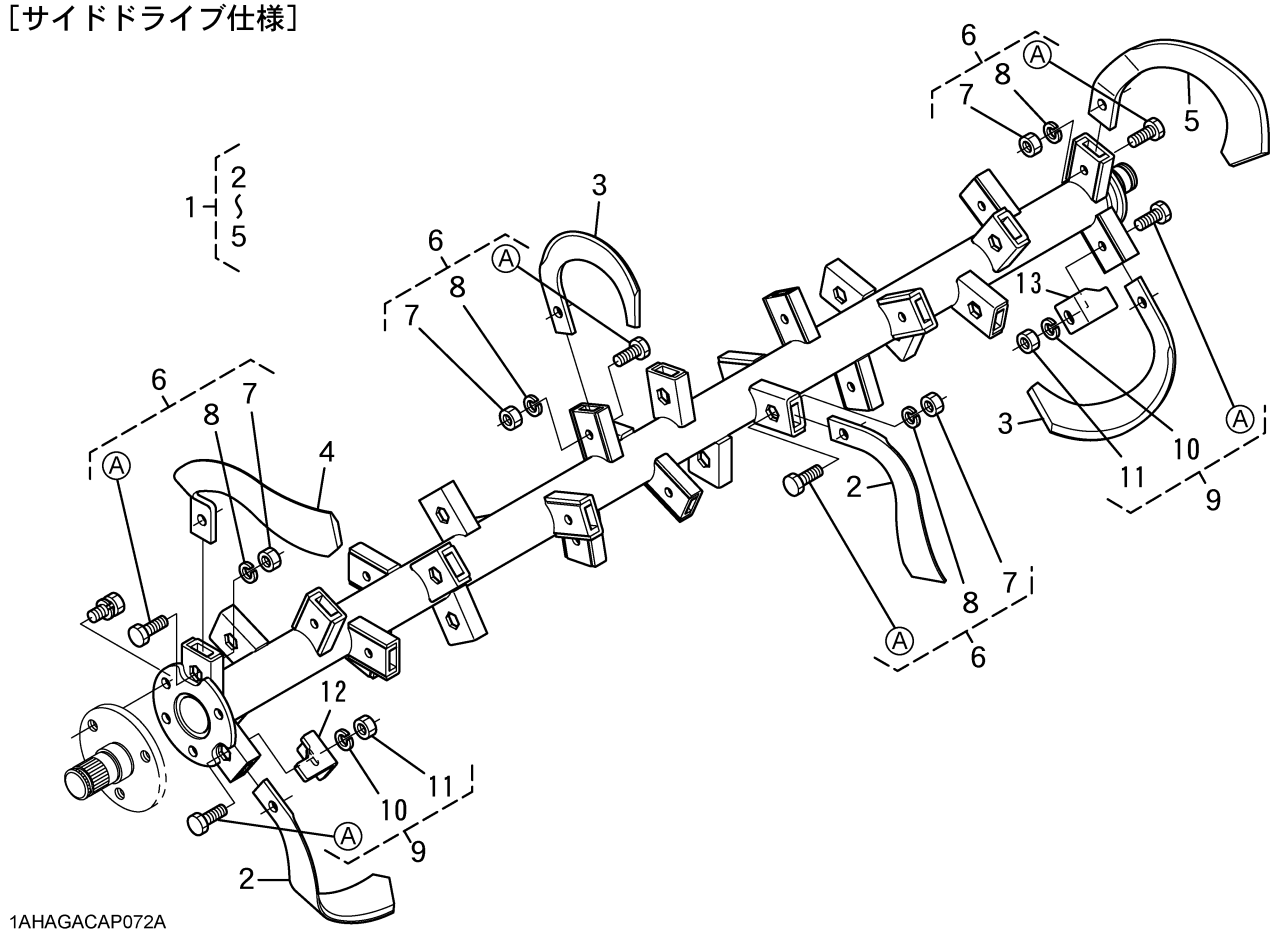
[RS11J,RS12J,RS13J,RS14J,RS15J]



1AHAGACAP071A

図番	品名	品番	個数
1	ロータリカバー (L, ホジョ)	7F012-5627-0	1
2	ロータリカバー (R, ホジョ)	7F012-5628-0	1
3	クリップ	7A245-5667-0	2
4	ネジリスプリング	7C405-5668-0	2
5	アタマツキピン	05122-50625	2
6	ワリピン	05511-51612	2

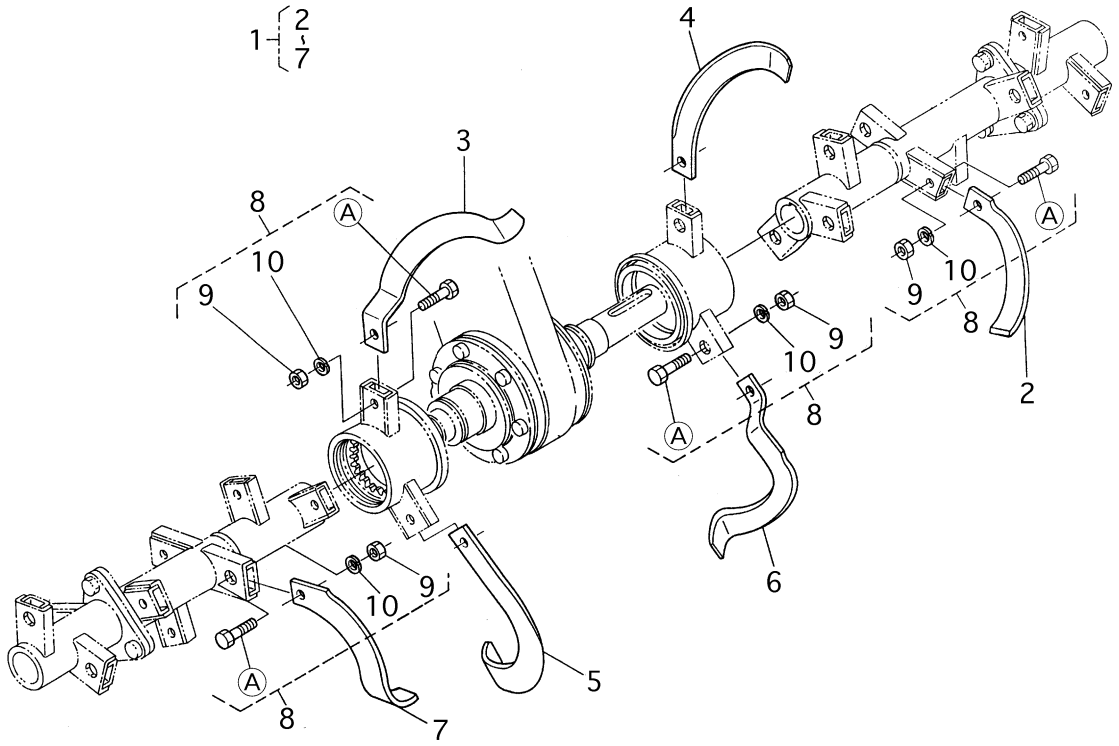
［サイドドライブ仕様］



1AHAGACAP072A

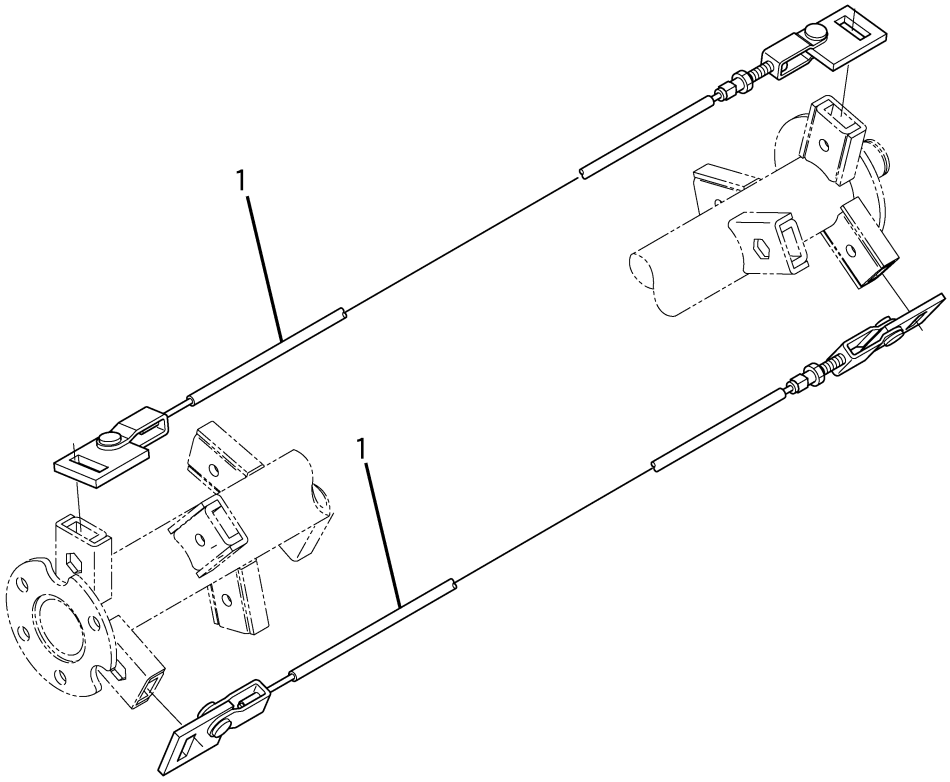
図番	品名	品番	個数						備考
			RS10JSE	RS11J(E)	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J	
1	コウウンゾメ，アッシ (24)	7F710-5754-3	1	—	—	—	—	—	2 ～ 5
1	コウウンゾメ，アッシ (26)	7F711-5754-3	—	1	—	—	—	—	2 ～ 5
1	コウウンゾメ，アッシ (28)	7F712-5754-3	—	—	1	—	—	—	2 ～ 5
1	コウウンゾメ，アッシ (30)	7F713-5754-3	—	—	—	1	—	—	2 ～ 5
1	コウウンゾメ，アッシ (32)	7F714-5754-4	—	—	—	—	1	—	2 ～ 5
1	コウウンゾメ，アッシ (34)	7F715-5754-3	—	—	—	—	—	1	2 ～ 5
2	コウウンゾメ (331，L)	7F712-5581-2	—	12	13	14	15	16	
3	コウウンゾメ (331，R)	7F712-5582-2	—	12	13	14	15	16	
4	コウウンゾメ (332，ゾウフク，L)	7F712-5585-0	—	1	1	1	1	1	
5	コウウンゾメ (332，ゾウフク，R)	7F712-5586-0	—	1	1	1	1	1	
6	ツメトリツケブヒン 1	70461-5555-0	—	26	28	30	32	34	7,8,(A)
7	ツメトリツケナット	64135-9519-3	—	26	28	30	32	34	
8	バネザガネ	04512-50100	—	26	28	30	32	34	
9	ツメトリツケブヒン	7C705-5555-0	2	2	2	2	2	2	
10	バネザガネ	04512-50100	2	2	2	2	2	2	
11	ツメトリツケナット	64135-9519-3	2	2	2	2	2	2	
12	ブレード (ターフカット，L)	7F012-5574-0	1	1	1	1	1	1	
13	ブレード (ターフカット，R)	7F012-5575-0	1	1	1	1	1	1	

［センタドライブ仕様］



1AHAGABAP125A

図番	品名	品番	個数		備考
			RK11J(SE)	RK13J	
1	コウウンヅメアッシ	7F287-5762-0	—	—	2 ～ 7
1	コウウンヅメアッシ	70198-5762-0	1	—	2 ～ 7
1	コウウンヅメアッシ	70199-5762-0	—	1	2 ～ 7
2	コウウンヅメ 321　ミギ	96181-1222-2	11	13	
3	533 ナタヅメ　ヒダリ	70101-5551-4	2	2	
4	533 ナタヅメ　ミギ	70101-5552-4	2	2	
5	534 ヘンケイヅメ　ヒダリ	70101-5553-4	1	1	
6	534 ヘンケイヅメ　ミギ	70101-5554-4	1	1	
7	コウウンヅメ 321　ヒダリ	96181-1221-2	11	13	
8	ツメトリツケブヒン　1	70461-5555-0	28	32	9,10,(A)
9	ツメトリツケナット	64135-9519-3	28	32	
10	バネザガネ	04512-50100	28	32	



1AHAAACAP126A

図番	品名	品番	個数				
			RS11J	RS12J	RS13J	RS14J	RS15J
1	ワイヤ，アッシ（11）	7F611-5550-0	2	—	—	—	—
1	ワイヤ，アッシ（12）　※１	7F612-5550-0	—	1	—	—	—
1	ワイヤ，アッシ（12，Ｓ）　※２	7F212-5550-0	—	1	—	—	—
1	ワイヤ，アッシ（13）	7F613-5550-0	—	—	2	—	—
1	ワイヤ，アッシ（14）	7F614-5550-0	—	—	—	2	—
1	ワイヤ，アッシ（15）	7F615-5550-0	—	—	—	—	2

※１　標準爪用
※２　増幅爪用

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず，購入先へ　ご相談ください

おぼえのため，記入されると便利です

購入先名　　**担当**　　**電話（　　）　　ー**		
ご購入日	**型式名**	**区分**
車台番号(製造番号)	**エンジン型式**	**エンジン番号**

万一ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162	〒981-1221	名取市田高字原182番地の１
東京営業技術推進部：電(048)862-1588	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263	〒950-0992	新潟市上所上１丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121	〒924-0038	白山市下柏野町956-１
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111	〒491-0031	一宮市観音町１番地の１
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
米子営業技術推進部：電(0859)39-3181	〒689-3547	米子市流通町430-12
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500	〒769-0102	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181	〒861-4147	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１
本社営業技術部：電(072)241-8092	〒590-0823	堺市堺区石津北町64番地

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048)862-1121	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(06)6470-5970	〒661-8567	尼崎市浜１丁目１番１号
機械福岡事務所：電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１丁目７番３号

RS10JSE/11J(E)/12J/13J/14J/15J,
RK11J(SE)/13J
AK．E．1-1．1．AK

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ

〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
TEL.06-6648-2111
FAX.06-6648-3862

品番 7F012-5991-1